KENWOOD

マイクロハイファイコンポーネントシステム

SJ-3MD

取扱説明書

**お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。**

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-4925-10 02 (MA) (J) AP 0011

はじめに

本機の特長

MDロングプレイモード対応

ATRAC 3（MDLP）による長時間録音、再生機能（LP2、LP4）を搭載。標準の2倍(約160分*）または４倍(約320分*）のデジタル長時間録音、再生ができます。
（* 80分ディスクを使用した場合）

CD→MD High Speed（倍速）ダビング対応

CDからMDへカンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。(全曲、1曲)

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

- **ワンタッチ録音：**
  キーを押すだけで、CD１枚または1曲をカンタンに録音できます。
- **TWIN REC 機能：**
  CD から MD とテープへ同時録音が出来ます。
- **プログラム録音：**
  好きな曲を好きな曲順で録音できます。

便利なタイマー機能

- **O.T.T.機能：**
  設定した時間になると、1時間だけ（１回のみ）動作します。
- **タイマー再生、タイマー録音機能：**
  タイマー再生（AIタイマー再生）とタイマー録音を2系統（PROG.1, PROG.2）設定ができます。（AIタイマーは、タイマー再生開始後、一定のレベルまで徐々に音量が上がります。）
- **スリープタイマー機能：**
  設定時間になると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

"DEMO OFF"（デモンストレーション解除）：
デモンストレーション中に **set/demo** キーを押す

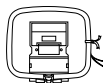
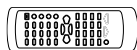
set / demo

"DEMO ON"（デモンストレーション実行）：
電源がオンの時に **set/demo** キーを押す（2秒以上）

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーションがオンになります。

付属品

AM ループアンテナ（1個）

FM 室内アンテナ（1本）

リモートコントロールユニット（1個）

リモコン用単三乾電池（2本）

目次

⚠このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

安全編

準備編

基本編

応用編

知識編

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

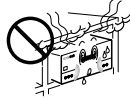
⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

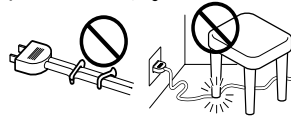
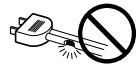
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

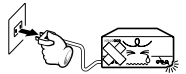
煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

きれいにしましょう

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

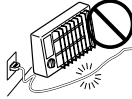
電池は放置しない

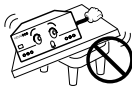
電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

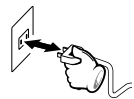
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

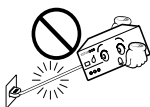
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

システムと付属品の接続

本機と、付属品の接続方法です。

注意 *接続のご注意*

機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

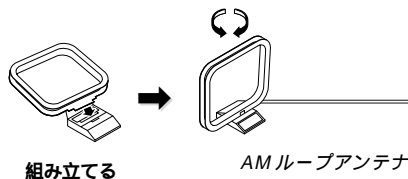
スピーカーの設置とテレビについて

1. スピーカーをテレビに近づけて設置するとテレビ画面に、色ムラが発生することがあります。設置の際は、テレビからスピーカーを離して設置してださい。
2. スピーカーの設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15 分〜 30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがオフのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してださい。

注意 *設置のご注意*

過熱による火災の原因となりますので、放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな？と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。 →82

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

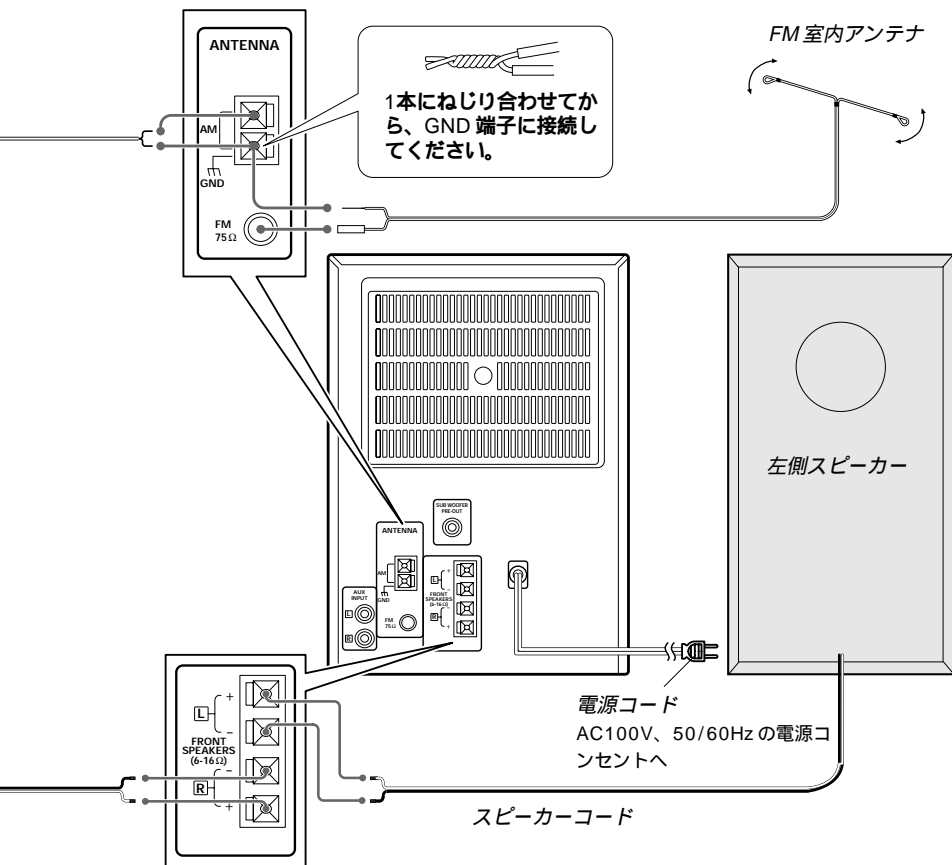
ANTENNA
AM
GND
FM 75Ω

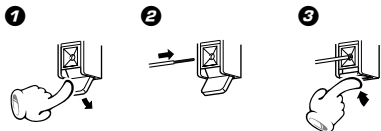
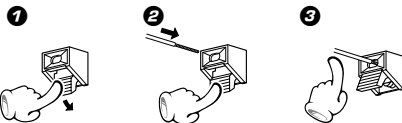
1本にねじり合わせてから、GND端子に接続してください。

FM 室内アンテナ

SUB WOOFER PRE-OUT
AUX INPUT
FRONT SPEAKERS (6-16Ω)

左側スピーカー

電源コード
AC100V、50/60Hz の電源コンセントへ

スピーカーコード

本体部へのスピーカーコードの取り付けかた

本体部への AM アンテナコードの取り付けかた

他の機器（市販品）との接続

注意　*接続のご注意*
機器の接続は、図のように行なってください。
接続が終了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

注意　*屋外アンテナ設置上のご注意*
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

FM 屋外アンテナ

ANTENNA
AM
GND
FM 75Ω

アンテナアダプター（市販品）

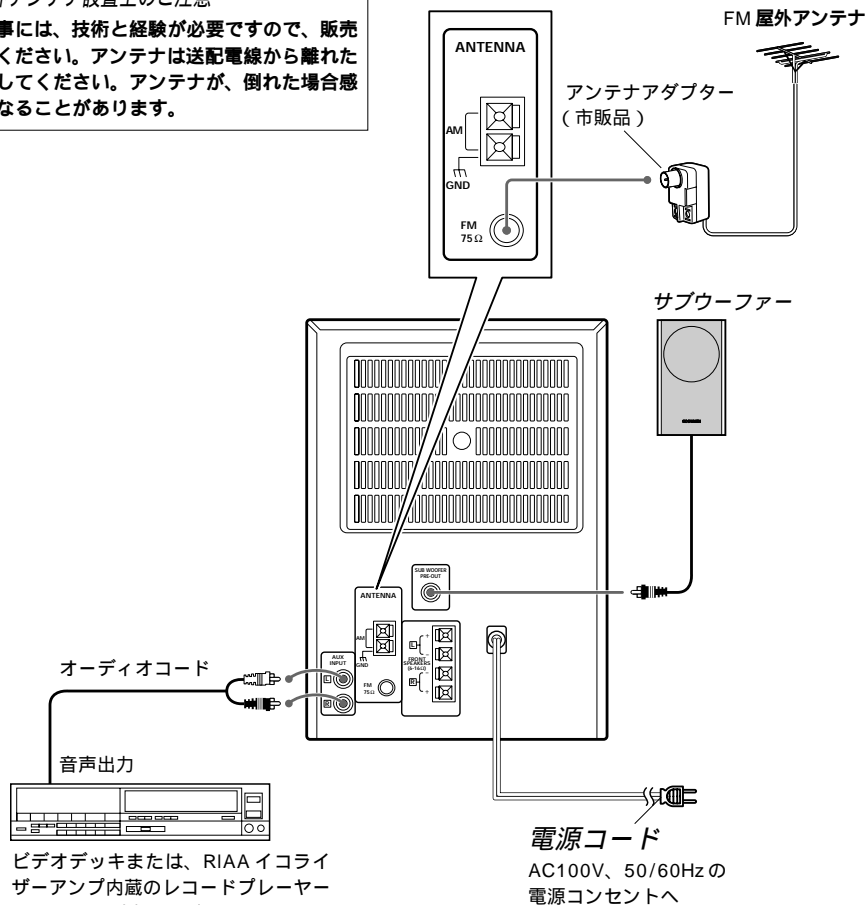
サブウーファー

SUB WOOFER PRE-OUT
ANTENNA
AUX INPUT
FRONT SPEAKERS (6-16Ω)

オーディオコード

音声出力

ビデオデッキまたは、RIAA イコライザーアンプ内蔵のレコードプレーヤー／P-110（別売）など

電源コード
AC100V、50/60Hz の電源コンセントへ

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤作動または故障の原因となります。

表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ テープ関連表示
❷ CD、MD 関連表示
❸ 文字情報表示／チューナー関連表示
❹ タイマー関連表示
❺ MD、テープ録音／録音一時停止表示
❻ MD LP 表示
❼ O.T.E.（One（ワン） Touch（タッチ） Edit（エディット））表示
❽ MD-EDIT（エディット） 表示
❾ MONO（モノラル） 表示
❿ HIGH（ハイ）-SPEED（スピード） 表示
⓫ TAPE（テープ） EQ.（イコライザー） 表示
⓬ 文字情報表示（ドット表示）
⓭ EX.（エクストラ）BASS（バス） 表示／LOUD（ラウドネス） 表示

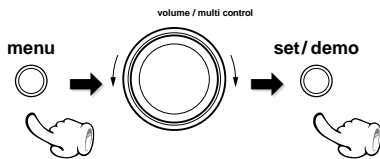
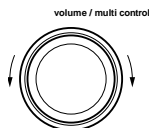
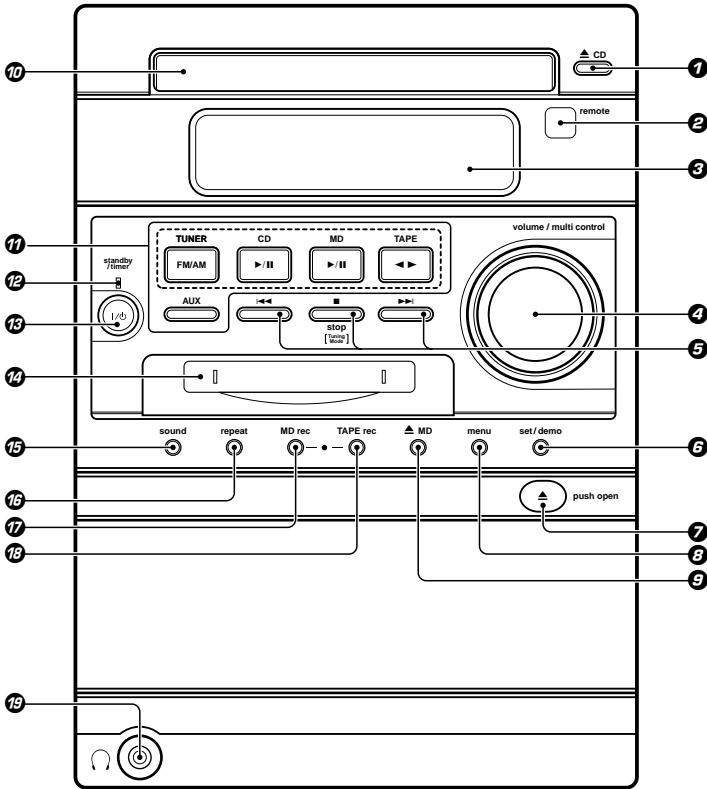
AUTO（オート） POWER（パワー） SAVE（セーブ） 機能について

電源がオンで、CD、MD、TAPE（テープ） のすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、オン／オフを選べます。

❶ "A.P.S. SET（セット）?" を選ぶ

("?" マークが点滅中に set（セット）/demo（デモ） キーを押す)

❷ "A.P.S. ON（オン）" または、"A.P.S. OFF（オフ）" を選択する

❸ 確定する

- 入力切換が TUNER（チューナー）、AUX のときは、音量がゼロまたは MUTE（ミュート） がオンのときに限り働きます。

本体部

❶ ▲ CD キー →20
CD トレイを開閉します。

❷ リモコン受光部 →17

❸ 表示部

※❹ volume/multi control つまみ →15 →18
通常は音量の調節に使います。

❺ |◀◀、▶▶| キー

CD、MDのとき： →21 →24 →66
スキップ（曲の飛び越し）キーとして使います。
MD の編集、文字選択などに使用します。

TAPE のとき： →27
早送り、巻戻しに使います。

チューナーのとき： →28
記憶させた放送局を受信するときに使います。

■ stop / Tuning Mode キー

CD、MD、TAPE のとき： →21 →24 →27
停止するときに使います。

チューナーのとき： →31
AUTO（オート選局、ステレオ受信）と MONO（マニュアル選局、モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： →72
表示部に時計を表示します。

❻ set/demo キー
volume/multi control つまみで選択した項目の設定や確定などに使います。
デモンストレーションのオン / オフに使います。→2

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、[ ] 内の各操作キーを押すと、すぐに再生（受信）します。

❼ カセットホルダー →26
テープを出し入れするときは、▲ **push open** 表示部分を押して開け閉めします。

❽ menu キー →15 →72
volume/multi control つまみをメニュー選択モードに切り換えます。
時刻合わせをするときに使います。

❾ ▲ MD キー →24
MD を取り出すときに使います。

❿ CD トレイ →20
▲ **CD** キーで開閉します。

⓫ 基本操作キー

TUNER FM/AM キー →28
入力をチューナーに切り換えます。
放送バンドを切り換えます。

CD ▶/❚❚ キー →20
入力を CD プレーヤーに切り換え、再生を開始します。
CD 再生中に押すと一時停止をします。

MD ▶/❚❚ キー →23
入力を MD レコーダーに切り換え、再生を開始します。
MD 再生中に押すと一時停止をします。
MD 録音中に押すと録音を一時停止します。

TAPE ◀ ▶ キー →26
入力をカセットデッキに切り換え、テープを再生します。
再生中に押すと、テープの走行方向を切り換えます。

AUX キー →71
AUX (アナログ外部入力端子)に接続した入力ソースを聴くときに使います。
電源がオフのときに押すと、本機がオンになり入力切り換えが AUX になります。

⓬ standby/timer インジケーター
電源がスタンバイ状態になると点灯します。
赤 ： 通常のスタンバイ状態
緑 ： タイマースタンバイ状態
消灯 ： 電源オンの状態

⓭ I / ⏻ キー →18
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

⓮ ミニディスク挿入口

⓯ sound キー →19
音質効果を切り換えます。EX. BASS 再生または、LOUD 再生の切り換えに使います。

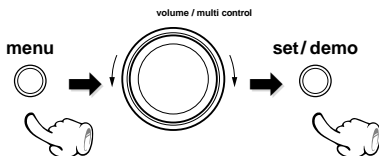
⓰ repeat キー（CD、MD） →41
繰り返し再生するときに使います。

⓱ MD rec キー →33
MD に録音をするときに使います。

⓲ TAPE rec キー →37
テープに録音をするときに使います。
録音中に押すと、約 4 秒間の無音部分（空き）を作ってから一時停止します。

⓳ ヘッドホン端子 →19
ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

※ ***volume/multi control* つまみについて**

menu キーでメニュー選択モードにし volume/multi control つまみを回して項目を選びます。
set/demo キーでメニュー項目の設定や確定をします。

- 20 秒間操作しないと通常モードに戻ります。
- MD に録音している場合、"**MD REC MODE**" と "**REC SPEED ?**" は表示されません。

回すと表示が切り換わります。

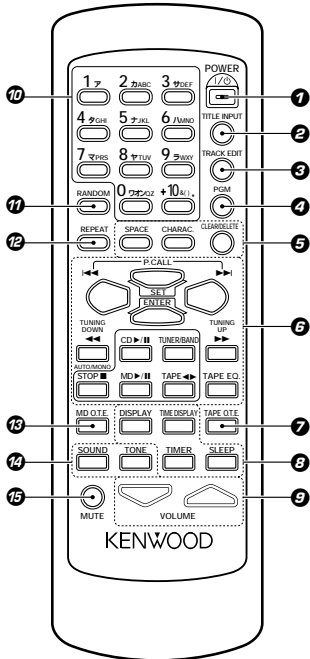
- **"TAPE RVS. ?"** →27
- **"MD REC MODE"** →33 →35 →44
- **"REC SPEED ?"** →44
- **"REC OPTIONS"** →44
- **"ケンメイセッテイ?"** →29
（入力切換がチューナーのときのみ）
- **"AUX INPUT ?"** →71
（入力切換が外部入力のときのみ）
- **"TIMER SET ?"** →74 →76
- **"A.P.S. SET ?"** →13

スタンバイ状態について

本体部のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

準備編

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

型名：RC-M0303J
赤外線方式

❶ **POWER（I/⏻）キー** → 18
電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❷ **TITLE INPUT キー** → 64
MD にタイトル入力をするときに使います。

❸ **TRACK EDIT キー** → 54
MDの曲を編集するとき、曲の移動や消去などに使います。

❹ **PGM キー（CD、MD）** → 39
曲順をプログラムするときに使います。

❺ **SPACE キー** → 65
MD のタイトル入力のとき、スペースを入力します。

CHARAC. キー → 65
MD のタイトル入力のとき、文字の種類を切り換えます。

CLEAR/DELETE キー（CD、MD） → 39 → 65
プログラムした曲を取り消します。
MD のタイトル入力のとき、1 文字を削除します。

❻ **基本操作キー**
（CD、MD 共用のキーは、入力切り換えに応じて、動作します。）

|◀◀ P.CALL ▶▶| キー

CD、MD のとき： → 21 → 24
スキップ(曲の飛び越し)に使います。
MD の編集、文字選択などにも使用します。

TAPE のとき
早送り、巻戻しに使います。

チューナーのとき： → 28
記憶させた放送局を受信するときに使います。

SET キー → 54
MD の編集処理の設定や、**volume/multi control** つまみで選択した項目の設定や確定などに使います。

ENTER キー → 31 → 55 → 67
MD の編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。
チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。

TUNING UP/ DOWN （◀◀, ▶▶）キー

CD、MD、TAPE のとき： → 21 → 24 → 27 → 65
早送り、早戻しに使います。
MD のタイトル入力のとき、カーソルの移動に使います。

チューナーのとき： → 31
放送局の選択に使います。

CD ▶/II キー → 20

TUNER/ BAND キー → 28

STOP ■ キー / AUTO/MONO キー → 21 → 31

MD ▶/II キー → 33

TAPE ◀ ▶ キー → 26

TAPE EQ. キー → 27
テープイコライザーをオンにするときに使います。

❼ **TAPE O.T.E. キー** → 47
CD をワンタッチでテープに録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CDの全曲をテープへ録音します。

❽ **DISPLAY キー** → 22 → 25
表示部の表示モードを切り換えます。

TIME DISPLAY キー → 22 → 25 → 27
CD や MD などの時間表示を切り換えます。

TIMER キー → 75 → 78
タイマーを選択するときに使います。

SLEEP キー → 73
おやすみタイマーを設定するときに使います。

❾ VOLUME（ボリューム）キー →18 →19
音量を調節するときに使います。
音質を調整するときに使います。

❿ 文字／数字キー
CDまたはMDの曲を選ぶときや、TUNER（チューナー）のプリセットコールキーとして使います。 →21 →24 →28
MDのタイトル入力のとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。 →65

⓫ RANDOM（ランダム）キー（CD、MD） →42
曲順を順不同に再生します。

⓬ REPEAT（リピート）キー（CD、MD） →41
繰り返し再生するときに使います。

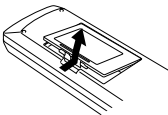
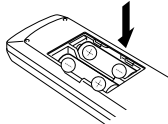
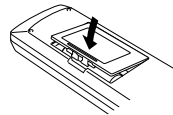
⓭ MD O.T.E.（ワンタッチエディット）キー →47
CDをワンタッチでMDに録音できます。
CDの再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを、停止中に押すと、CDの全曲をMDに録音します。

⓮ SOUND（サウンド）キー →19
音質効果を切り換えます。EX. BASS（バス） 再生または、LOUD（ラウドネス） 再生の切り換えに使います。

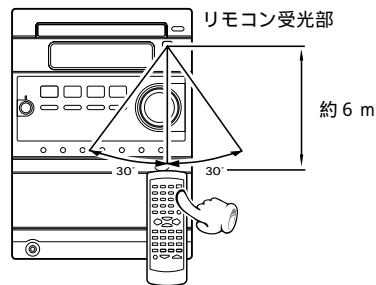
TONE（トーン）キー →19
音質の調整に使います。

⓯ MUTE（ミュート）キー →19
一時的に音を消したいときに使います。

電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単3乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER（パワー）（I/⏻）キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

メモ
● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
● 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

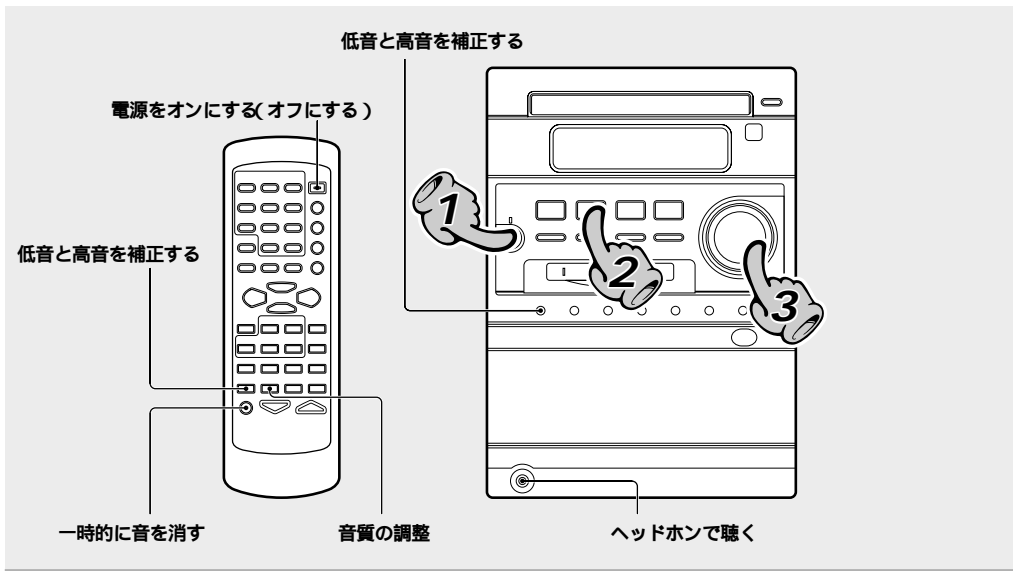
低音と高音を補正する

電源をオンにする(オフにする)

低音と高音を補正する

一時的に音を消す

音質の調整

ヘッドホンで聴く

1. 電源をオンにする(オフにする)

電源がオンのときにI/⏻キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

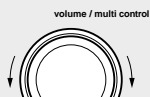
- **TUNER FM/AM**、**CD ►/❚❚**、**MD ►/❚❚**、**TAPE ◄►** キーまたは、**AUX**キーを押しても、電源がオンになり、再生(受信)します。(ワンタッチオペレーション機能)
- CD、MD、TAPEを選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

2. 聴きたいものを選ぶ

例:CDを選ぶ時

CD → 20
MD → 23
TAPE → 26
TUNER(ラジオ) → 28
AUX(外部入力)[インプットレベルを調整する→ 71]

- **TUNER FM/AM**、**CD ►/❚❚**、**MD ►/❚❚**、**TAPE ◄►** キーまたは、**AUX**キーを押すと、その入力に切り換わります。

CDを選んだとき

3. 音量を調節する

音量を下げる　音量を上げる

- 表示部に目安の数字が表示されます。

音量の表示

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

低音と高音を補正する

押すたびに切り換わります。

① **"EX. BASS"点灯**
音量にかかわらず低高音域を補正
② **"LOUD"点灯**
音量に合わせて低高音域を補正
（小音量時に有効です）
③ **消灯** ......解除

- "**EX. BASS**" または "**LOUD**" 表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。

音質の調整

リモコンのみ

低音域と高音域の調整をします。

❶ 音域を選びます

押すたびに切り換わります。

① **"BASS"（低音域）を調整**

BASS 0

② **"TREBLE"（高音域）を調整**

TREBLE 0

③ **通常状態**

（8 秒以内に手順 ❷ を行う）

❷ 調整する

（他の音域を選ぶ時は手順 ❶、❷ を繰返します）

- "**BASS**"、"**TREBLE**" とも2ステップ毎に、-8〜+8の範囲で調整できます。
- "**EX. BASS**" または "**LOUD**" 表示が点灯中に音質の調整をすると表示は消灯し解除されます。

CDを聴く

CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

曲を飛び越す

好きな曲から聴く

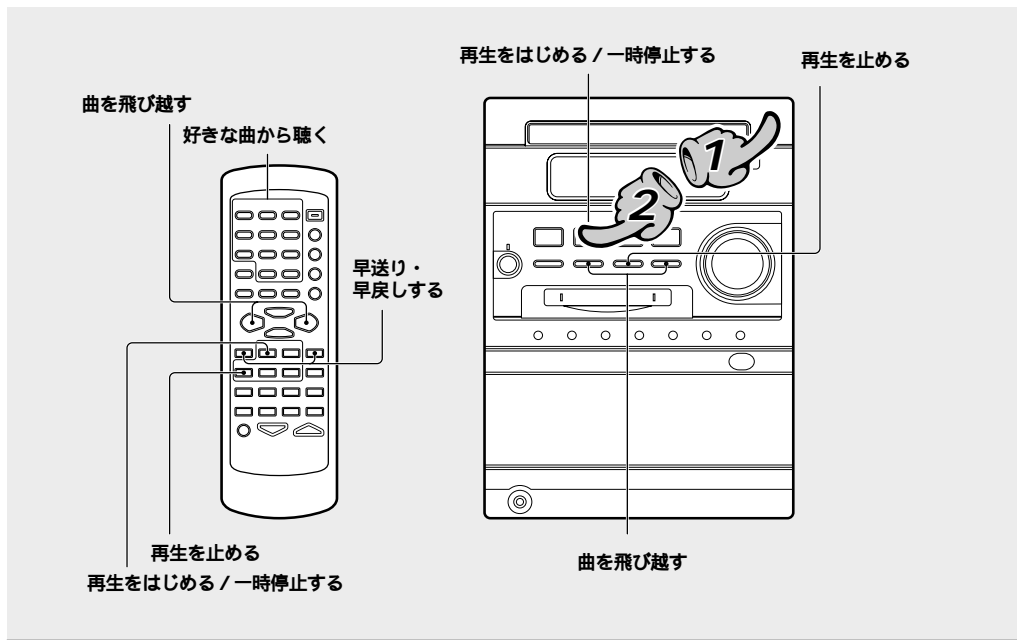
早送り・
早戻しする

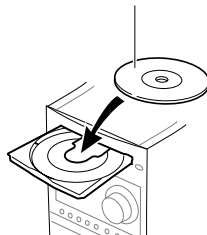
再生を止める

再生をはじめる／一時停止する

再生をはじめる／一時停止する

再生を止める

曲を飛び越す

1. ディスクを入れる

❶ ▲ CD キーを押す
❷ ディスクを入れる
❸ ▲ CD キーを押す

- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクを斜めに置くと故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

- 数秒後に1曲目から再生します。
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生をはじめる／一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

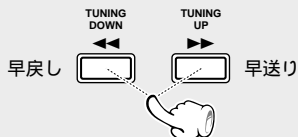
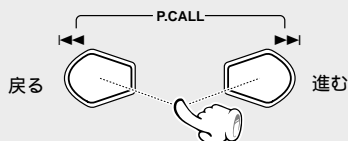
好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は
23曲目なら .... +10×2回, 3
40曲目なら .... +10×4回, 0

早送り・早戻しする

リモコンのみ

● 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
● 再生中にI◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
● さらに手前の曲にスキップするときは素早くI◀◀キーを押します。
● 停止中でもI◀◀, ▶▶Iキーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

CDを取り出す

本体のみ

● CDトレイが開きます。（もう一度押すと閉まります）

基本編

⚠ **注意** **レーザー光源をのぞかない**
レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

CDプレーヤーの時間表示について

TIME（タイム） DISPLAY（ディスプレイ） キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- プログラムモードのときには、③ はプログラム全体の経過時間、④ はプログラム全体の残り時間を表示します。
- 時間表示の合計が256分以上になると "– – : – –"と表示されます。

① **再生中の曲の経過時間**

TRACK NO.
01　1:23

② **再生中の曲の残り時間**

③ **ディスク全体の経過時間**
("**TOTAL（トータル）**" 点灯)

TRACK NO.　TOTAL
01　23:45

④ **ディスク全体の残り時間**
("**TOTAL（トータル）**" 点灯)

TRACK NO.　TOTAL
01　-36:15

CD-TEXT（テキスト）対応ディスクのタイトル表示について

本機では、CD-TEXT（テキスト）対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。
タイトルが、表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。

リモコンのみ

- CD-TEXT（テキスト） 対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が1000文字を超えると "**TEXT（テキスト） FULL（フル）**" と表示されます。

（停止中に操作します。）

ディスクタイトルをスクロール表示

BACH:Solo V

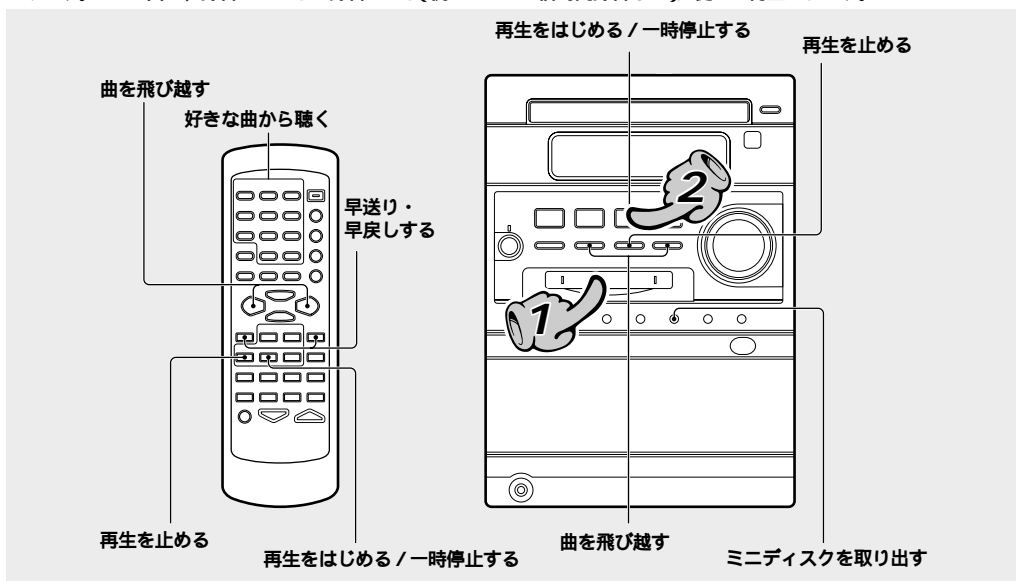
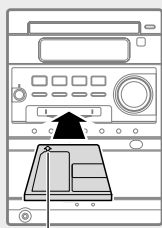
（再生中に操作します。）

トラックタイトルをスクロール表示

BACH:Partit

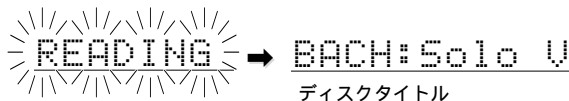
基本編

MDを聴く

MDレコーダーにあらかじめミニディスクを入れておくと、MD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。MDの曲は、録音したときの録音モード(例：MDLP/2倍時間録音など)に従って再生されます。

1. ミニディスクを入れる

矢印の方向に入れる

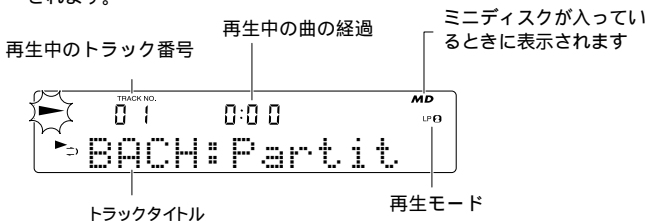
ミニディスクを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

- ミニディスクにディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

表示が変わります

ディスクタイトル

スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。
スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

- 数秒後に1曲目から再生します。
- トラックタイトルが記録されているときは、再生中の曲のタイトルが表示されます。

再生中のトラック番号　再生中の曲の経過　ミニディスクが入っているときに表示されます

トラックタイトル　再生モード

再生をはじめる／一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

リモコンのみ

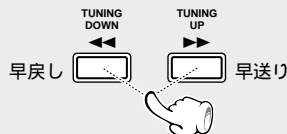
曲を選ぶ

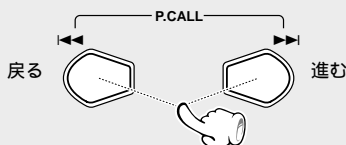
数字キーを押す順序は

23曲目なら .... +10×2回, 3
40曲目なら .... +10×4回, 0
102曲目なら .... +10×10回, 2

- MDのときのみ、100曲以上選ぶことができます。
- "READING"（リーディング）の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最後の曲を再生します。

早送り・早戻しする

リモコンのみ

- 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に |◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く |◀◀ キーを押します。
- 停止中でも |◀◀、▶▶| キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

ミニディスクを取り出す

本体のみ

- ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

基本編

MDLPについて

MDLPはMD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーやMDプレーヤーまたは、ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

MDレコーダーの時間表示について

TIME DISPLAY キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- プログラムモードのときには、③ はプログラム全体の経過時間、④ はプログラム全体の残り時間を表示します。
- 時間表示の合計が1000分以上になると "**– – : – –**" と表示されます。

① **再生中の曲の経過時間**

TRACK NO.
01 1:23

② **再生中の曲の残り時間**

③ **ディスク全体の経過時間**
("**TOTAL**" 点灯)

④ **ディスク全体の残り時間**
("**TOTAL**" 点灯)

TRACK NO. TOTAL
01 -36:15

MDレコーダーのタイトル表示について

タイトルが、表示部に表示しきれない場合に押すと、表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認できます。

リモコンのみ

(停止中、再生中に操作します。)

① **タイトル表示**

BACH:Solo V

② **タイトルをスクロール表示**

Partita fo

(スクロール表示後 ① に戻ります)

③ ② **のタイトルスクロール中に押すと、MDの録音可能残り時間を表示**

001 R74:00

(5秒経過すると ① に戻ります)

(MDに録音中に操作すると)

① **録音している入力ソースを表示**
(CD-TEXT 対応ディスクの場合は、タイトルを表示します)

CD

② **MD の録音可能残り時間を表示**

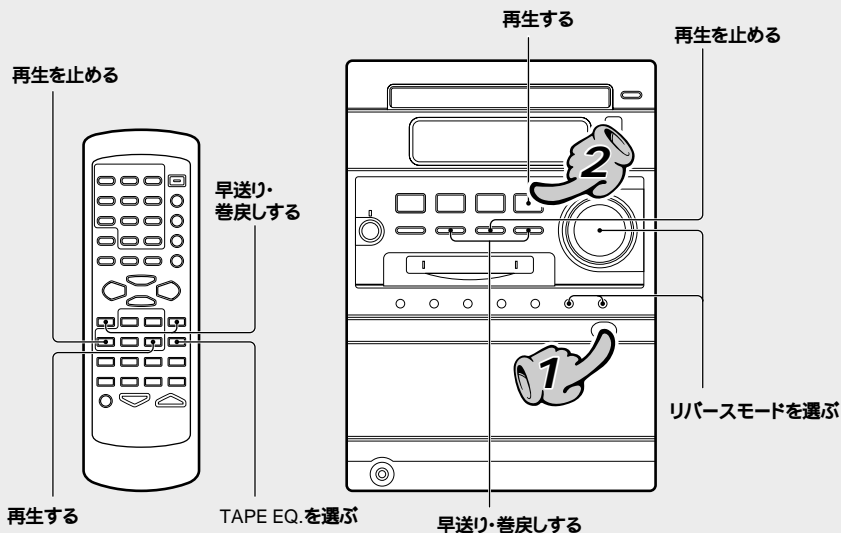
001 R74:00

MDの録音モードの設定により、録音可能残り時間の表示は異なります。

- 曲名(トラックタイトル)ならびにミニディスク名(ディスクタイトル)が登録されていない場合は、"**・NO TITLE・**"が表示されます。
- 1曲も録音されていない場合、"**BLANK DISC**" と表示されます。(ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます)

基本編

テープを聴く

カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPE(テープ) ◄ ► キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

1. カセットテープを入れる

❶ ▲ push(プッシュ) open(オープン) 表示部を押しカセットホルダーをあける
❷ テープを入れる
❸ ▲ push(プッシュ) open(オープン) 表示部を押しカセットホルダーをしめる

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

- 本機は、ノーマル(TYPE(タイプ) Ⅰ)、ハイ(TYPE(タイプ) Ⅱ)、メタル(TYPE(タイプ) Ⅳ)のテープが再生可能です。
- テープは、たるみのない状態にしてください。

2. 再生する

再生中は、キーを押すたびに、テープの走行方向が切り換わります。

走行方向について：

再生や録音をしているときの、テープの走行方向を、◄ または ► の点灯で表示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

早送り・巻戻しする

- 早送りを止めるときは、STOP(ストップ) ■ キーを押してください。
- 本体の ⏮、⏭ キーでも操作できます。

TAPE(テープ) EQ(イコライザー).を選ぶ

ドルビー録音されたテープを聴くときのみに使います。（ドルビー録音をしていないテープでは、正常な音で再生されません）

リモコンのみ

テープイコライザーがオンのとき点灯

押すたびに切り換わります。

① **"TAPE(テープ) EQ(イコライザー)." 点灯**
（テープイコライザーを使う）

② **"TAPE(テープ) EQ(イコライザー)." 消灯**
（テープイコライザーを使わない）

- 高音域のノイズの低減に有効です。

再生を止める

リバースモードを選ぶ

本体のみ

❶ **"TAPE(テープ) RVS(リバース). ?"を選ぶ。**

❷ **選択する。**

① **" ⊐ ":(ONE(ワン)-WAY(ウェイ))**
片面のみを再生（録音）して止まる

② **" ⊃ ":(REVERSE(リバース))**
両面を再生（録音）して止まる

③ **" ⊂⊃ ":(ENDLESS(エンドレス))**
両面をエンドレス再生する（録音時は両面を録音して止まる）

（初期設定は " ⊃ " (REVERSE(リバース))になっています）

❸ **確定する。**

テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが"0000"と表示されます。テープの途中で録音（再生）を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音（再生）のときに、続きの場所を探すめやすになります。裏面を聴いているとき（走行方向表示が ◄ のとき）はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを"0000"にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

テープのカウンターの表示について

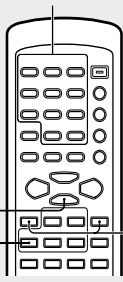
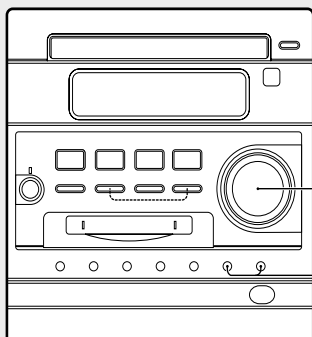
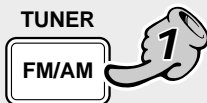
TIME(タイム) DISPLAY(ディスプレイ) キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります

リモコンのみ

① **時刻表示**
② **テープカウンター**

基本編

ラジオ放送を聴く

TUNER FM/AM キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは、TUNER FM/AM キーを押すたびに切り換わります。

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット) → 29

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット(記憶)されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を(FM 放送のみ)表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる(マニュアルプリセット) → 31

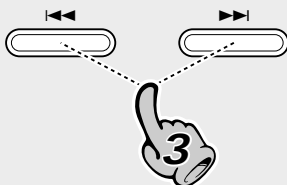
放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。

3. 放送局を呼び出す(プリセットコール)

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮ または、⏭ を押して選局します。
  押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

ステレオ受信時に点灯
受信すると "TUNDE" が点灯
FM 01 89.00 MHz AUTO TUNED STEREO
周波数の表示

⏭ を押すと : 1 → 2 → 3 ..... 28 → 29 → 30 → 1 .....
⏮ を押すと : 30 → 29 → 28 ..... 3 → 2 → 1 → 30.....

- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンでは、⏮ **P.CALL** ⏭ キーあるいは数字キーを押して選局します。

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)(エリア別FM放送局名自動表示)

本体のみ

❶ 入力切換を TUNER にする

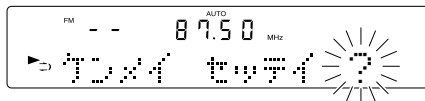
❷ " ケンメイ　セッテイ ?" を選ぶ

("?" マークが点滅中に set/demo キーを押す)

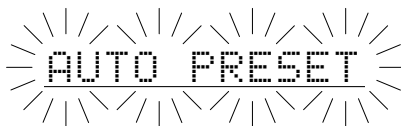
❸ お住まいの都道府県名を選ぶ

❹ オートプリセットを始める

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大30局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。

→30

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ケンメイ ミセッテイ?**"と表示されます。

"**トウキョウ**" を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**" に従ってオートプリセットされます。

- "**AUTO PRESET**" 表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および "**TUNDE**" が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。→30
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- プリセットされている局は書き換えられます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、"set/demo" キーを押してリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。

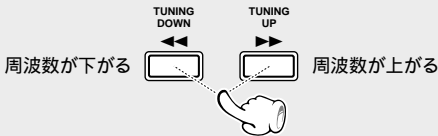
基本編

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2000年 11月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G '
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V - air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	Passion Wave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一放送	NHKラジオ 1
	FEN オキナワ	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき：オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき：マニュアル選局モード

● FM放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える

押すたびに切り換わります。
① **"AUTO":** ステレオ受信("**AUTO**" 点灯)
② **"MANUAL":**モノラル受信("**AUTO**" 消灯)

● 通常は **AUTO**(オート選局、ステレオ受信)を選んでください。

❷ 選局をする

オート選局のとき:
TUNING UP/DOWN (◀◀、▶▶) キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき:
受信するまで繰り返し **TUNING UP/DOWN (◀◀、▶▶)** キーを押します。あるいは **TUNING UP/DOWN (◀◀、▶▶)** キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。

放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

リモコンのみ

❶ "記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

"**MEMORY**" 表示(20秒間)

❷ 受信中にENTERキーを押す

("MEMORY" 表示中に、手順 ❸ へ)

● 最大30局まで放送局を記憶できます。

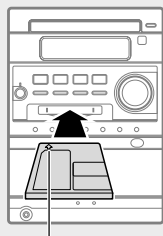
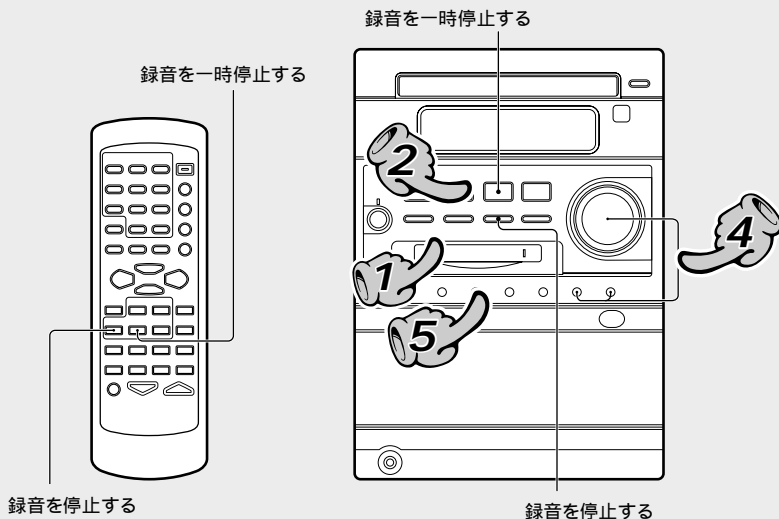
❸ 1〜30 までのプリセット番号を選ぶ

● 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

❹ もう一度 ENTER キーを押す

(続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順 ❶, ❷, ❸, ❹ を繰り返す)

MDに録音する

MDへの録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。
CDを録音するには "便利な録音あれこれ" を参照ください。 →43

矢印の方向に入れる

1. 録音の準備をする

❶ **ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする** →81
❷ **ミニディスクを入れる**

スタンバイ状態時は、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

MD以外を選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD

2. 何を録音するか選ぶ

CD	：デジタル録音のみ
TAPE（テープ）	：アナログ録音のみ
TUNER（チューナー）**（ラジオ）**	：アナログ録音のみ
AUX（外部入力）	：アナログ録音のみ【インプットレベルを調整する→71】

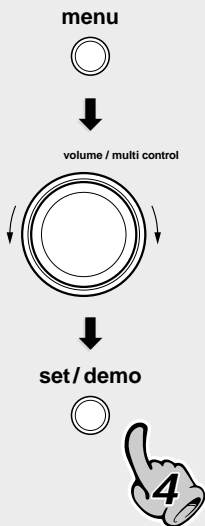
表示部に録音する入力ソースが表示されます。

- すでにCDやテープが入っているときは、再生が始まりますので ■ **STOP**（ストップ） キーを押して止めます。
- CD-TEXT（テキスト）が記録されているCDの場合、TEXT（テキスト）データはコピーされません。
- 入力切換がCDのときは、自動的にデジタル録音となります。

3. ソース(音源)の準備をする

TUNER(ラジオ放送): 選局する
CD: 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
TAPE: 録音をはじめる位置を探してから再生一時停止にする
AUX(外部入力ソース): 受信や再生などの準備をする →71

4. 録音モードを設定する

長時間録音モード(LP2、LP4)で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

❶ **menu キーを押して "MD REC MODE" を選び set/demo キーを押す**
❷ **volume/multi control つまみを回して、好みの録音モードを選び set/demo キーを押す**

回すと表示が切り換わります。

- **"STEREO" (ステレオ録音)**: MDカートリッジに表示されている時間分録音できます。
- **"LP2" (ステレオ2倍長時間録音)**: MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分録音できます。("**LP 2**"点灯)
- **"LP4" (ステレオ4倍長時間録音)**: MDカートリッジに表示されている約4倍の時間分録音できます。("**LP 4**"点灯)
- **"MONO"(モノラル録音)**: MDカートリッジに表示されている2倍の時間分のモノラル録音ができます。("**MONO**"点灯)

❸ **❷で "LP2" または "LP4" を選んだときは、volume/multi control つまみを回して "LP : STAMP on" または "LP : STAMP off" を選び set/demo キーを押す** →35

回すと表示が切り換わります。

- **"LP : STAMP on"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入る
- **"LP : STAMP off"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :**" の文字が入らない

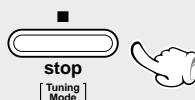
5. 録音をはじめる

❶ **MD rec キーを押す(録音一時停止状態になります)**
❷ **準備ができていれば、再度 MD rec キーを押す(録音がはじまります)**
❸ **ソース(音源)の再生を始める。(チューナーの場合は、この手順は不要です)**

- CDを録音するとき、❶のあとに **CD ▶/❚❚** キーを押すと、CDの再生と同時に録音が始まります。(CDシンクロ録音)
- AUX(外部入力ソース)の録音レベルの調整が必要な場合は、録音一時停止中に行います。 →71

録音を一時停止する

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は "1 "繰り上がります。**MD rec** キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する

- "**MD WRITING**" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"**MD WRITING**" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- CDを録音しているときは、CDプレイヤーも停止します。また、テープを録音しているときは、カセットデッキも停止します。（シンクロ機能）

録音時のトラック番号について

録音のとき、音のない部分が 3 秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に "1" 繰り上げます。（テープとチューナーの場合は、トラック番号は繰り上らない場合があります。）また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が "1" 繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、あとで削除できます。
もし、録音の途中でトラック番号を繰り上げたいときは、録音中に TRACK EDIT キーを押すと、その位置にトラック番号を付けることができます。
トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

リモコンのみ

録音中に押す

- CDからのデジタル録音では、曲の切り換わりに合わせてトラック番号が繰り上がります。

CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が "1" 繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は **"曲をまとめて消す（QUICK ERASE）または全曲消す（ALL ERASE）"、"1曲消す（TRACK ERASE）"** を参照して削除してください。 →58 →60

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL" ：ミニディスクが一杯になっている。
➡ 不要な曲を消す。 →58 →60

"PROTECTED" ：誤消去防止つまみが開いている。
➡ 閉める。 →81

"PLAY ONLY" ：再生専用ミニディスクである。
➡ 録音用ミニディスクを入れる。

MDのステレオ長時間録音と再生について

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。(MDLP対応機器です)
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があります。
また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について (LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4モードはLP2モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音(STEREO(ステレオ))で録音してください。

スタンプ(STAMP(スタンプ))機能

本機でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)で録音された曲のタイトルの始めの部分に "**LP:**" を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に "**LP:**" が表示されます。
"**LP:**" は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ(STAMP(スタンプ))機能のオン("**LP:**" をつける)またはオフ("**LP:**" をつけない)の設定をすることができます。

録音モードの種類

ステレオ録音(STEREO(ステレオ)):
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音(LP2):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ4倍長時間録音(LP4):
音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

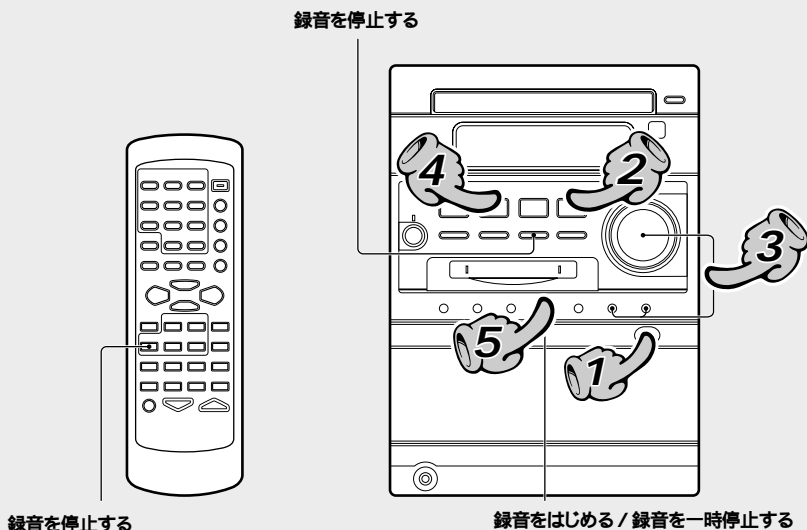
モノラル長時間録音(MONO(モノラル)):
録音される音声はモノラルになります。録音可能時間はMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

LP2、LP4モードで録音したMDをLP2、LP4モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

メモ 異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"**曲をつなぐ(COMBINE(コンバイン))**" → 61

テープに録音する

本機は、ノーマル(TYPE Ⅰ)、ハイ(TYPE Ⅱ)のテープで録音可能です。メタル(TYPE Ⅳ)のテープでの録音はできません。

1. 録音の準備をする

❶ ≜ push open 表示部を押しカセットホルダーをあける
❷ テープを入れる
❸ ≜ push open 表示部を押しカセットホルダーをしめる

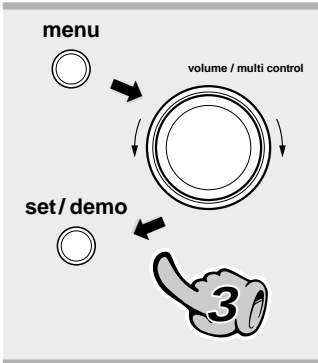
90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

- テープは、たるみのない状態にしてください。

2. テープの進む向きを選ぶ

走行方向を逆にしたい場合

❶ 再生する
❷ もう一度キーを押す
❸ 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。
  "**走行方向について**" → 26
- あらかじめ、テープに録音を始める位置をさがしておきます。

3. 録音条件を決める

リバースモードを選ぶ →27

- 録音時は、テープの走行方向をよくご確認ください。テープの走行方向がリバースのときは、リバースモードでの設定に関わらず片面のみの録音となります。
- 録音時は、テープイコライザーは使えません。

TAPE以外を選ぶ

例：CDを選ぶ時

4. 何を録音するか選ぶ

CD
MD
TUNER（ラジオ）
AUX（外部入力）［インプットレベルを調整する→71］

表示部に録音する入力ソースが表示されます

- すでに CD や MD が入っているときは、再生が始まりますので ■ **STOP** キーを押して止めます。

5. 録音をはじめる

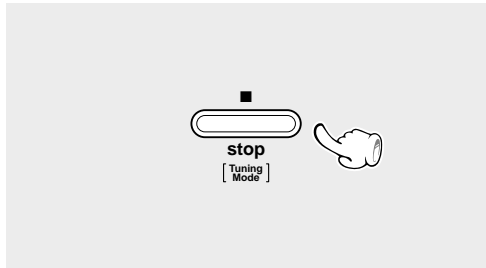
❶ TAPE rec キーを押す
❷ ソース（音源）の再生を始める。

- 録音する面（片面または両面）が終了すると、自動的に停止します。

録音を一時停止する

本体のみ

- 録音中に再度、**TAPE rec** キーを押すと、4秒間の無録音部分を作り、一時停止します。（もう一度押すと録音を再開します）

録音を停止する

CDから録音するときのポイント

CDを録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、CDの再生とテープの録音を同時に始めることができます。

❶ 再生するCDを一時停止にする

❷ 録音したい曲を|◀◀、▶▶| キーで選ぶ（選んだ曲の初めで一時停止になります。）

❸ カセットデッキを録音ポーズ状態にする（TAPE rec キーを2回押します。）

❹ CDの再生を始める（録音がスタートします。）

- **■ STOP** キーを押すと、録音を中止します。
- MDからも同様の手順で録音できます。

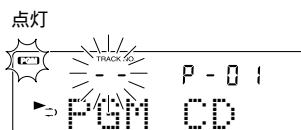
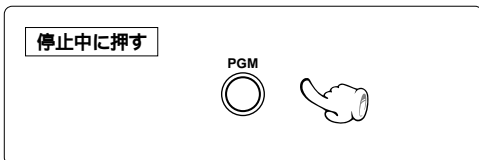
曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。（最大32曲）

入力切換を"CD"または"MD"にする

1 "PGM"インジケーターを点灯させる

停止中に押す

点灯

2 聴きたい順に曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

（20秒以内に手順❷を行う）

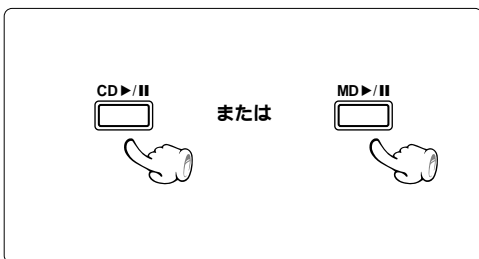
選曲　プログラム順位

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10, 2
40曲目なら .... +10 × 4, 0
102曲目なら .... +10 × 10, 2

❷ 確定する

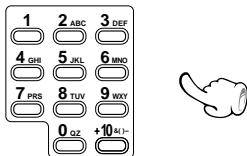
（2曲以上選ぶときは手順 ❶、❷ を繰り返す）

- MDのときのみ、100曲以上選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。"**PGM FULL**"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、**CLEAR/DELETE** キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- CDのプログラム時間の合計が256分以上、またMDのプログラム時間の合計が1000分以上になると、時間表示が "ー ー：ー ー" になります。

3 再生する

- プログラムで選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に ⏮ または ⏭ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ⏮ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

応用編

曲を追加するには

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

停止中に押す

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2
40曲目なら .... +10 × 4, 0
102曲目なら .... +10 × 10, 2

❷ SET(セット)キーを押す

- MDのときのみ、100曲以上選ぶことができます。
- 最大32曲まで選べます。"**PGM**(プログラム) **FULL**(フル)"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、**CLEAR**(クリア)/**DELETE**(デリート) キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには

停止中に押す

P-5が取り消されたとき

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

プログラムを解除するには

停止中に押す

消灯

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すと、プログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容はクリアーされます。

繰り返し聴く（リピート再生）

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

入力切り換えを"CD"または"MD"にする

1曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM"表示の消灯を確かめる

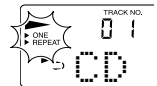
❷ 繰り返したい曲を再生する

❸ "ONE REPEAT"を選ぶ

● "PGM"表示が点灯しているときは、停止中に PGM キーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

押すたびに切り換わります。

① **"ONE REPEAT"**
② **"REPEAT"**
③ **消灯……**リピート解除

全曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM"表示の消灯を確かめる

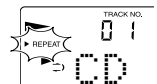
❷ "REPEAT"を選ぶ

❸ 再生する

● "PGM"表示が点灯しているときは、停止中に PGM キーを押して消灯させてください。

消灯を確かめる

押すたびに切り換わります。

① **"ONE REPEAT"**
② **"REPEAT"**
③ **消灯……**リピート解除

選んだ曲だけを繰り返し聴くとき

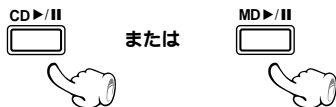
❶ "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順❷までを行い、聴きたい曲をプログラムする

→39

❷ "REPEAT"を選ぶ

REPEAT

❸ 再生する

CD ▶/II または MD ▶/II

押すたびに切り換わります。

① "REPEAT"
② 消灯……リピート解除

● 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEATキーをリピートモードが解除になるまで押します。

● "REPEAT" 表示が消灯し、CDプレーヤーまたはMDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

曲順を順不同に楽しむ (ランダム再生)

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、飽きることなく楽しめます。

入力切換を"CD"または"MD"にする

❶ "PGM"表示の消灯を確かめる

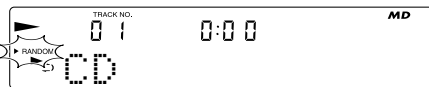
PGM

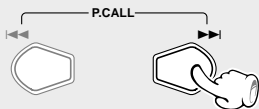
● "PGM"表示が点灯しているときは、停止中に PGM キーを押して消灯させてください。

❷ RANDOM キーを押す

RANDOM

押すたびに切り換わります。

① "RANDOM" 点灯(ランダム再生する)
② "RANDOM" 消灯(通常の再生)

● 全曲の再生が1回終わると停止します。
● REPEAT キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

● |◀◀ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RANDOM" 表示を消灯させる

● "RANDOM" 表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

便利な録音あれこれ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください
MDへの録音は、すべての録音機能でATRAC3(MDLP)での長時間録音ができます。

本機は、ノーマル(TYPE Ⅰ)、ハイ(TYPE Ⅱ)のテープで録音可能です。メタル(TYPE Ⅳ)のテープでの録音はできません。

CDを、MDに短時間で録音したいときは(CD→MD) →44

全曲倍速録音 → **CDの全曲を、通常録音の半分の時間でMDに録音することができます。**

一曲倍速録音 → **そのときに聴いているCDの1曲だけを、通常録音の半分の時間でMDに録音することができます。**
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

CDの録音を簡単にしたいときは(CD→MD/CD→TAPE) →46

● MDからテープへの"**ワンタッチエディット録音**"はできません。

全曲録音 **CDの全曲を、MDまたはテープのいずれかに録音できます。**

一曲録音 **その時に聴いているCDの1曲だけを、MDまたはテープのいずれかに録音できます。**
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

CDを、MDとテープに同時録音がしたい時は(TWIN REC) →48

全曲同時録音 **CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。**

一曲同時録音 **その時に聴いているCDの1曲だけを、MDとテープに同時に録音できます。**
(初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。)

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは(CD→MD/CD→TAPE/TWIN REC/MD→TAPE) →50 →52

プログラム録音 **プログラムした曲順で録音します。**
(CDまたは、MDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。)
プログラムした曲順で、MDとテープに同時録音することもできます。

テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープの分だけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

倍速録音（CD→MD）

CDの全曲を、MDに倍速録音できます。（倍速全曲録音）
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（倍速一曲録音）

MDレコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ 入力切換を"CD"にする
❷ "PGM"や"RANDOM" 表示の消灯を確かめる
❸ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
❹ CDプレーヤーにディスクを入れる

- "**PGM**" 表示が点灯しているときは、停止中に **PGM** キーを押すとプログラムモードを解除します。
- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

❶ menu キーを押す

menu

❷ volume/multi control つまみを回して、"MD REC MODE" を選び、set/demo キーを押す

長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

❸ volume/multi control つまみを回して、録音モードを選び、set/demo キーを押す

volume / multi control

set / demo

（"STEREO"または、"MONO"を選んだときは手順 3 へ）

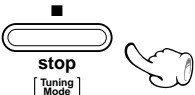
回すと表示が切り換わります。

① **"STEREO"** : ステレオ録音モード
② **"LP2"** : ステレオ2倍長時間録音モード
③ **"LP4"** : ステレオ4倍長時間録音モード
④ **"MONO"** : モノラル録音モード

❹ LPスタンプ機能を使うときは volume/multi control つまみを回して、"LP : STAMP on"を選び、set/demo キーを押す

回すと表示が切り換わります。

① **"LP : STAMP on"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る
② **"LP : STAMP off" :** 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

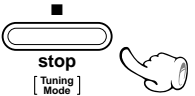
3 録音スピードを選ぶ

❶ menu キーを押す
❷ volume/multi control つまみを回して、"REC SPEED ?" を選び、 set/demo キーを押す
❸ volume/multi control つまみを回して、"CD → MD HIGH" を選び、 set/demo キーを押す

回すと表示が切り換わります。

① **"CD → MD NORM"** : MDで通常速度で録音するときに選びます。
② **"CD → MD HIGH"** : MDで倍速録音するときに選びます。

- ② の "**CD → MD HIGH**" を選ぶと、"**HIGH-SPEED**" 表示が点灯します。

4 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる ■ stop [Tuning Mode]	**録音したい曲を再生する** ● 曲の途中で手順5を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 **（他の曲を録音するときは、手順4と5を繰り返します）**

5 録音を始める

❶ menu キーを押す
❷ volume/multi control つまみを回して、"REC OPTIONS" を選び、 set/demo キーを押す。
❸ volume/multi control つまみを回して、"CD→MD" を選び、 set/demo キーを押すと倍速録音が開始されます。

リモコンで手順5を操作するときは、 MD O.T.E. キーを1回押すだけで録音がはじまります。

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、通常の速度の録音で録音しなおしてください。

回すと表示が切り換わります。

① **"CD→MD"**：CDをMDに倍速録音するときに選びます。
② **"CD→TAPE"**
③ **"TWIN REC"**

● 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると.....

MDレコーダー　：停止します。

● いったん倍速録音をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じディスクを倍速録音することはできません。この場合、続けて同じディスクを録音したいときは、ワンタッチエディット録音（通常の速度の録音）で録音をしてください。 →46

Wait 74min. HIGH-SPEED

同じディスクの倍速録音ができるようになるまでの時間

● 74分以内に101曲以上を続けて倍速録音することはできません。

応用編

ワンタッチエディット録音（CD→MD／CD→TAPE）

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。（全曲録音）
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（一曲録音）

本機は、ノーマル(TYPE Ⅰ)、ハイ(TYPE Ⅱ)のテープで録音可能です。メタル(TYPE Ⅳ)のテープでの録音はできません。

MDレコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

CD→MDのとき	CD→TAPEのとき
❶ 入力切換を"CD"にする	❶ "テープに録音する"の手順 1～3までを行う →36
❷ "PGM"や"RANDOM" 表示の消灯を確かめる	❷ "PGM"や"RANDOM" 表示の消灯を確かめる
❸ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる	❸ CDプレーヤーにディスクを入れる
❹ CDプレーヤーにディスクを入れる	CDからテープに録音する場合は手順 3へ
❺ "HIGH-SPEED" 表示の消灯を確かめる →44	

- "**PGM**" 表示が点灯しているときは、停止中に **PGM** キーを押すとプログラムモードを解除します。
- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。
- "**HIGH-SPEED**" 表示が点灯している場合、MDは倍速録音になります。

2 録音モードを選ぶ

❶ menu キーを押す

❷ volume/multi control つまみを回して、"MD REC MODE" を選び、set/demo キーを押す

❸ volume/multi control つまみを回して、録音モードを選び、set/demo キーを押す

("STEREO"または、"MONO"を選んだときは手順 3 へ)

❹ LPスタンプ機能を使うときは volume/multi control つまみを回して、"LP : STAMP on"を選び、set/demo キーを押す

長時間録音モード(LP2、LP4)で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

回すと表示が切り換わります。

① **"STEREO"** : ステレオ録音モード
② **"LP2"** : ステレオ2倍長時間録音モード
③ **"LP4"** : ステレオ4倍長時間録音モード
④ **"MONO"** : モノラル録音モード

回すと表示が切り換わります。

① **"LP : STAMP on"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る
② **"LP : STAMP off"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

応用編

3 CDの再生状態を確認する

全曲録音	１曲録音
再生中のときは停止させる	**好きな曲を再生する** ● 曲の途中で手順 4 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 **（他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）**

4 録音を始める

本体で手順 4 を操作するときは、"REC OPTIONS"から"CD→MD" または、"CD→TAPE" を選びます。

● 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

■ stop [Tuning Mode]

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

MDレコーダー　：　停止します。
カセットデッキ　：　約４秒の無録音部分を作ってから停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

MDとテープに同時録音(TWIN REC)

CDの全曲を、MDとテープに同時に録音できます。(全曲同時録音)
今聴いている曲だけを、曲の最初からMDとテープに同時に録音できます。(一曲同時録音)

本機は、ノーマル(TYPE Ⅰ)、ハイ(TYPE Ⅱ)のテープで録音可能です。メタル(TYPE Ⅳ)のテープでの録音はできません。

MDレコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ **入力切換を"CD"にする**
❷ **"PGM"や"RANDOM" 表示の消灯を確かめる**
❸ **MD　：MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる**
TAPE："テープに録音する"の手順 1〜3までを行う →36
❹ **CDプレーヤーにディスクを入れる**

MDとテープへ同時録音する場合、倍速録音はできません

- "**PGM**" 表示が点灯しているときは、停止中に **PGM** キーを押すとプログラムモードを解除します。
- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

❶ **menu キーを押す**

❷ **volume/multi control つまみを回して、"MD REC MODE" を選び、set/demo キーを押す**

❸ **volume/multi control つまみを回して、録音モードを選び、set/demo キーを押す**

("STEREO"または、"MONO"を選んだときは手順 ❸ へ)

❹ **LPスタンプ機能を使うときは volume/multi control つまみを回して、"LP : STAMP on"を選び、set/demo キーを押す**

長時間録音モード(LP2、LP4)で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

回すと表示が切り換わります。

① **"STEREO"** : ステレオ録音モード
② **"LP2"** : ステレオ2倍長時間録音モード
③ **"LP4"** : ステレオ4倍長時間録音モード
④ **"MONO"** : モノラル録音モード

回すと表示が切り換わります。

① **"LP : STAMP on"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る
② **"LP : STAMP off"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

3 CDの再生状態を確認する

全曲同時録音

再生中のときは停止させる

■
stop
[Tuning Mode]

1曲同時録音

好きな曲を再生する

- 曲の途中で手順 4 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。

（他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）

4 録音を始める

❶ menu キーを押す

❷ volume/multi control つまみを回して、"REC OPTIONS" を選び、set/demo キーを押す。

❸ volume/multi control つまみを回して、"TWIN REC" を選び、set/demo キーを押すと録音が開始されます。

リモコンでは操作できません。

回すと表示が切り換わります。

① **"CD→MD"**
② **"CD→TAPE"**
③ **"TWIN REC"**：CDをMDとテープに同時録音するときに選びます。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

（録音、再生ともに停止します。）

録音が終了すると.....

MDレコーダー ： 停止します。
カセットデッキ ： 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

プログラム録音(CD→MD／CD→TAPE／TWIN REC)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDまたはテープに録音することができます。

本機は、ノーマル(TYPE Ⅰ)、ハイ(TYPE Ⅱ)のテープで録音可能です。メタル(TYPE Ⅳ)のテープでの録音はできません。

MDレコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ **入力切換を"CD"にする**
❷ **"RANDOM" 表示の消灯を確かめる**
❸ **MD　：MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる**
TAPE ："テープに録音する"の手順 1〜3までを行う →36
❹ **CDプレーヤーにディスクを入れる**
❺ **"HIGH-SPEED" 表示の消灯を確かめる** →44

MDまたはテープへプログラム録音する場合は、倍速録音はできません

- "**RANDOM**" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。
- "**HIGH-SPEED**" 表示が点灯しているときは、録音スピードを通常速度に設定しなおしてください。

CDからテープにだけ録音する場合は手順 3 へ

2 録音モードを選ぶ

❶ **menu キーを押す**

❷ **volume/multi control つまみを回して、"MD REC MODE" を選び、set/demo キーを押す**

❸ **volume/multi control つまみを回して、録音モードを選び、set/demo キーを押す**

("STEREO"または、"MONO"を選んだときは手順 3 へ)

❹ **LPスタンプ機能を使うときは volume/multi control つまみを回して、"LP : STAMP on"を選び、set/demo キーを押す**

長時間録音モード(LP2、LP4)で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。

回すと表示が切り換わります。

① **"STEREO"** : ステレオ録音モード
② **"LP2"** : ステレオ2倍長時間録音モード
③ **"LP4"** : ステレオ4倍長時間録音モード
④ **"MONO"** : モノラル録音モード

回すと表示が切り換わります。

① **"LP : STAMP on"** : 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入る
② **"LP : STAMP off" :** 曲タイトルの頭の部分に "**LP :** " の文字が入らない

3 CDの曲順をプログラムする

CDの"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）" の手順 1～2 を行う

→39

- プログラムした内容を取り消すには、PGM（プログラム）キーを押します。 →40
- MDやテープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

4 録音を始める

❶ menu（メニュー） キーを押す

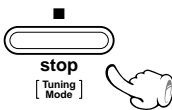
❷ volume/multi control（ボリューム/マルチ コントロール） つまみを回して、"REC OPTIONS"（レコーディング オプション） を選び、set/demo（セット/デモ） キーを押す。

❸ volume/multi control（ボリューム/マルチ コントロール） つまみを回して、"CD→MD"、"CD→TAPE"（テープ） または "TWIN REC"（ツイン レコーディング） を選び、set/demo（セット/デモ） キーを押すと録音が開始されます。

回すと表示が切り換わります。

① **"CD→MD"**：CDをMDに録音するときに選びます。
② **"CD→TAPE"**（テープ）：CDをテープに録音するときに選びます。
③ **"TWIN REC"**（ツイン レコーディング）：CDをMDとテープに同時録音するときに選びます。

リモコンで手順 4 を操作するときは、MD O.T.E.（ワンタッチエディット） キーまたは、TAPE O.T.E.（テープ ワンタッチエディット） キーを1回押すだけで録音がはじまります。

- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- CDプログラム再生が終わると自動的に録音が停止します。
- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

（録音、再生ともに停止します。）

録音が終了すると.....

MDレコーダー　：停止します。
カセットデッキ　：約４秒の無録音部分を作ってから停止します。

"MD WRITING"（ライティング） 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"（ライティング） が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

プログラム録音(MD→TAPE)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

本機は、ノーマル(TYPE Ⅰ)、ハイ(TYPE Ⅱ)のテープで録音可能です。メタル(TYPE Ⅳ)のテープでの録音はできません。

MDレコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

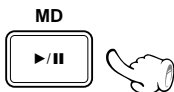
1 録音の準備をする

❶ 入力切換を"MD"にする
❷ MD : MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
TAPE : "テープに録音する"の手順 1〜3までを行う →36

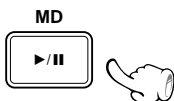
2 MDの曲順をプログラムする

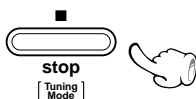
MDの"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)" の手順 1〜2 を行う →39

- プログラムした内容を取り消すには、PGM キーを押します。 →40
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

3 プログラム再生を始める前にMDを一時停止にする

- プログラム再生が始まったときは、|◄◄キーを1回押して曲の先頭に戻してください。

4 テープを録音一時停止状態にする

5 録音を開始する

- MDのプログラム再生と同時にテープの録音が始まります。

録音を途中でやめるには

(録音、再生ともに停止します。)

録音が終了すると.....

カセットデッキ : 約4秒の無録音部分を作ってから停止します。

応用編

MDの編集機能

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行うことができます。

- 再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。
- 編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。 →81

MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 →83

曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える（QUICK MOVE） →54

曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE） →56

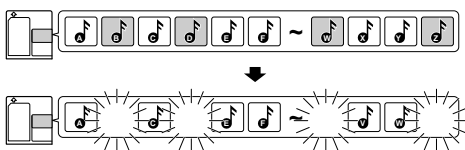
曲の消去

曲をまとめて消す（QUICK ERASE） →58

全曲消す（ALL ERASE） →58

1曲消す（ERASE） →60

曲の分割と結合

曲をつなぐ（COMBINE） →61

曲を分ける（DIVIDE） →62

ミニディスクや曲にタイトルをつける →64
タイトルを変更、消去する/ タイトルをすべて消去する →67
タイトルメモへの登録（TITLE MEMO） →68
タイトルのコピー（TITLE COPY） →69

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他のMDレコーダー（プレーヤー）にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す →70

ミニディスクを取り出し情報をディスクに書き込む前に操作すると、編集した内容を取り消すことができます。

曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選び出し、ひとまとめにして曲順を入れ替えることができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調節されます。

MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "▶ Q. MOVE ?"を選ぶ

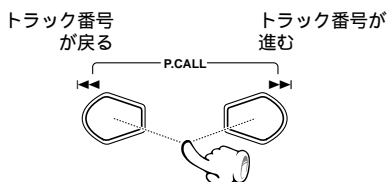
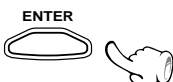
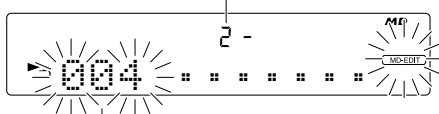
❶ TRACK EDIT キーを繰り返し押し、"▶ Q. MOVE ?"を選ぶ

押すたびに切り換わります。

① "▶ Q. MOVE ?"
② "▶ Q.ERASE ?"
③ "▶ CANCEL ?"
④ "MD-EDIT"表示消灯(MD 編集モード解除)

❷ 確定する

- 途中でやめるには、手順 ❹ の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

2 並び替えたい順に曲を選ぶ

❶ 曲(トラック番号)を選ぶ

- 最大32曲まで選ぶことができます。33曲以上を選ぶと"**FULL**" と表示されます。
- **CLEAR/DELETE** キーを押すと、最後に選んだ曲(トラック番号)を取り消すことができます。

❷ 確定する

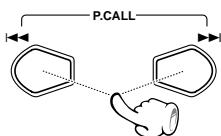
❸ 手順❶と❷を繰り返す

❹ 並び替えたい曲の選択を終了する

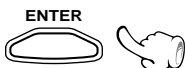
3 選んだ曲の移動先を決める

❶ 移動先を選ぶ

❷ 確定する

SET

トラックNo.4とNo.5の間に移動する例

選んだ曲の数

4 曲順の並び替えを実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE !"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT !"（編集不可能）

5 編集後、ミニディスクを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)" を参照して操作してください。 →70

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲順をまとめて入れ替えるイメージ

曲順を1曲ずつ入れ替える(MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

MDの編集を行うときは、停止中にPGMキーを押してプログラムモードを解除してください。

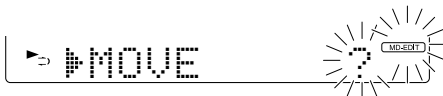
再生中または一時停止中に操作してください。

1 "▶ MOVE ?"を選ぶ

❶ **TRACK EDITキーを繰り返し押し、"▶ MOVE ?"を選ぶ(再生中に押すと一時停止します)**

押すたびに切り換わります。

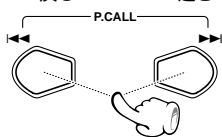
① **"▶ DIVIDE ?"**
② **"▶ COMBINE ?"**
③ **"▶ ERASE ?"**
④ **"▶ MOVE ?"**
⑤ "**MD-EDIT**"表示消灯(MD 編集モード解除)

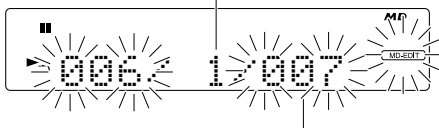
❷ **確定する**

● 途中でやめるには、手順 **3** の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

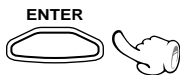
2 移動先を選ぶ

❶ **曲(トラック番号)を選ぶ**

トラック番号が戻る　　トラック番号が進む

P.CALL

❷ **確定する**

選んだ曲の数は、常に"1"が表示されます。

移動先のトラック番号

3 曲の移動を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE !"(編集完了)

"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT !"(編集不可能)

4 編集後、ミニディスクを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)" を参照して操作してください。 →70

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ

1 2 3 4 5 6 7 …… 22　**移動する曲を選ぶ**

TOP 1 2 3 4 5 6 …… 22 7 END　**移動先を選ぶ**

1 2 3 4 5 6 …… 21 22　**曲順の入れ替えが完了する（トラック番号が調整される）**

曲をまとめて消す(QUICK ERASE)または全曲消す(ALL ERASE)

停止中に、選んだ曲 または全曲消すことができます。
曲を消すと元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

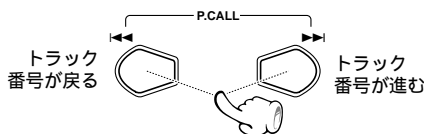
MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "▶ Q.ERASE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを繰り返し押し、"▶ Q.ERASE ?" を選ぶ

❷ 確定する

全曲消す場合は、"ALL ERASE" が表示されているときに、一度 ENTER キーを押して手順 ❸ の操作を行います。

押すたびに切り換わります。

① "▶ Q. MOVE ?"
② "▶ Q.ERASE ?"
③ "▶ CANCEL ?"
④ "**MD-EDIT**"表示消灯(MD 編集モード解除)

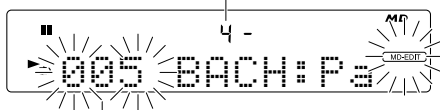
- 途中でやめるには、手順 ❸ の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

2 消したい曲を選ぶ

❶ 消したい曲を選ぶ

❷ 確定する

❸ 手順 ❶、❷ を繰り返す

❹ 選択を終了する

選択した曲の数

消したいトラック番号を表示させる

- 最大32曲まで選ぶことができます。33曲以上を選ぶと"**FULL**" と表示されます。
- 曲を削除する場合は、**CLEAR/DELETE** キーを押すと最後に選んだ曲を削除できます。

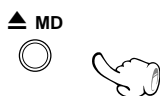
選択した曲の数

3 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE !"(編集完了)
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT !"(編集不可能)

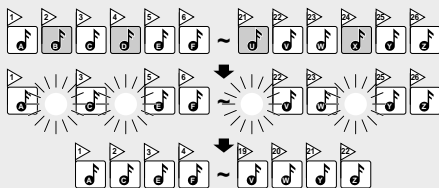
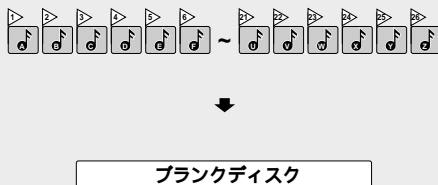
4 編集後、ミニディスクを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)" を参照して操作してください。 →

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲をまとめて消すイメージ

全曲消すイメージ

ブランクディスク

1曲消す(ERASE)

再生中にその曲のみ消去することができます。消した曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に調節されます。曲を消すと元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

MDの編集を行うときは、停止中にPGMキーを押してプログラムモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 消したい曲を再生する

2 "▶ ERASE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを繰り返し押し、"▶ ERASE ?" を選ぶ(再生中に押すと一時停止します)

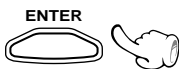
❷ 確定する

❸ もう一度 SET キーを押す

押すたびに切り換わります。

① "▶ DIVIDE ?"
② "▶ COMBINE ?"
③ "▶ ERASE ?"
④ "▶ MOVE ?"
⑤ "MD-EDIT"表示消灯(MD 編集モード解除)

- 途中でやめるには、手順 3 の前に TRACK EDIT キーを押します。

3 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE !"(編集完了)
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT !"(編集不可能)

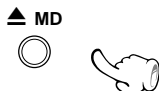
4 編集後、ミニディスクを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)" を参照して操作してください。 →70

情報を書き込み中

ミニディスク排出

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

曲をつなぐ(COMBINE)

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に調節されます。

MDの編集を行うときは、停止中にPGMキーを押してプログラムモードを解除してください。

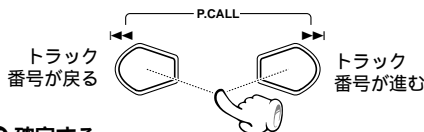
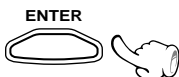
つなげる曲の録音モードが違うと、曲をつなぐことはできません。 →35

再生中または一時停止中に操作してください。

1 前になる曲を再生する

2 "▶ COMBINE ?"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを繰り返し押し、"▶ COMBINE ?"を選ぶ(再生中に押すと一時停止します)

❷ 確定する

● 手順 1 で選んだ曲の後ろに、手順 3 で選んだ曲をつなげることができます。

押すたびに切り換わります。

① "▶ **DIVIDE ?**"
② "▶ **COMBINE ?**"
③ "▶ **ERASE ?**"
④ "▶ **MOVE ?**"
⑤ "**MD-EDIT**"表示消灯(MD 編集モード解除)

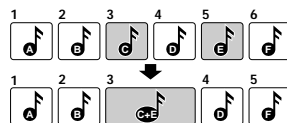
● 途中でやめるには、手順 4 の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

3 後ろになる曲を選ぶ

❶ 曲(トラック番号)を選ぶ

P.CALL
トラック番号が戻る
トラック番号が進む

❷ 確定する

SET

前半部のトラック番号とタイトルが残る(後半部のトラック番号とタイトルは消える)

4 曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW"→ "COMPLETE !"(編集完了)
"EDIT NOW"→ "CAN' T EDIT !"(編集不可能)

5 編集後、▲ MD キーを押してミニディスクを取り出す

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中に曲番号(トラック番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

MDの編集を行うときは、停止中にPGMキーを押してプログラムモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

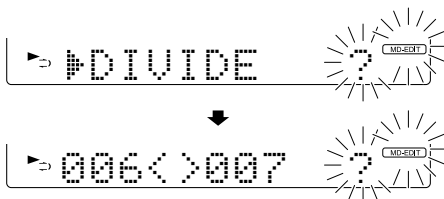
2 "▶ DIVIDE ?"を選ぶ

❶ **曲を聴きながら分割したい位置で、TRACK EDITキーを繰り返し押し、"▶ DIVIDE ?"を選ぶ(再生中に押すと一時停止します)**

❷ **確定する**

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。

押すたびに切り換わります。

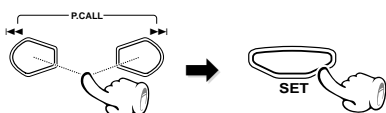
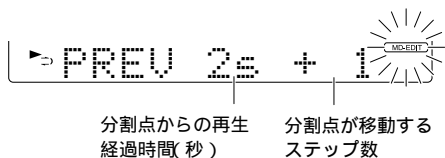
① "▶ DIVIDE ?"
② "▶ COMBINE ?"
③ "▶ ERASE ?"
④ "▶ MOVE ?"
⑤ "MD-EDIT"表示消灯(MD 編集モード解除)

一時停止中のトラック番号　　分割でできる新しいトラック番号

- 途中でやめるには、手順 4 の前に TRACK EDIT キーを押します。

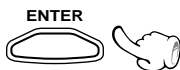
プレビューをしないときは、一度ENTERキーを押して手順 4 の操作を行います。

3 プレビューをするとき

❶ **プレビューの実行**

❷ **分割する位置の微調整をし、確定する**

- 分割点から約2秒が繰り返し再生されます。

分割点からの再生経過時間(秒)　　分割点が移動するステップ数

- 分割点の微調整は、TRACK EDIT キーを押した所を "**0**" として、60ms(6/100秒)単位で－31～＋31ステップ(約4秒の範囲)で可能です。

4 曲の分割を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW"→"COMPLETE !"(編集完了)
"EDIT NOW"→"CAN' T EDIT !"(編集不可能)

手順1～4を繰り返して、最大254までトラック番号を追加できます。

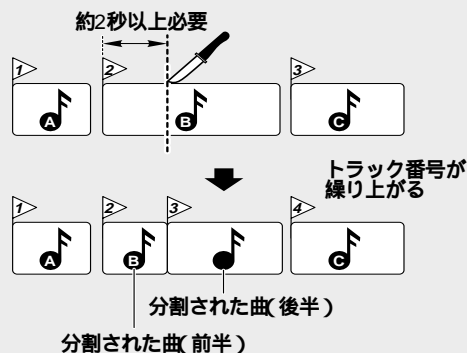
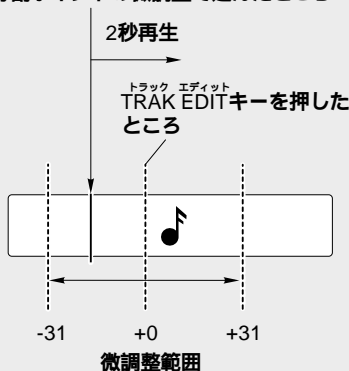
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

5 編集後、ミニディスクを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)"を参照して操作してください。 →70

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分割するイメージ

プレビュー再生のイメージ

ミニディスクや曲にタイトルをつける

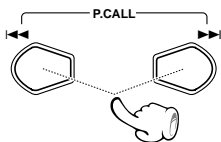
ミニディスクや曲に名前(タイトル)をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

MDの編集を行うときは、停止中にPGM(プログラム)キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする。

1 タイトル入力状態にする

❶ **TITLE(タイトル) INPUT(インプット)キーを押す**

❷ **編集したいタイトル(ディスクタイトルまたは、トラックタイトル)を選ぶ**

❸ **編集したいタイトル確定する**

MDの録音モード("LP2" または "LP4")の設定で、スタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。 →35

登録されている各種記号(ASCII(アスキー)コード)一覧：
! " # $ % & ' ( ) ＊ + , - . / : ; <= > ` ? @ _

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート))をご利用ください。 →67

- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE(タイトル) INPUT(インプット) キーを押します。

|◀◀、▶▶| キーを押すと切り換わります。

① **"dISC(ディスク)"** : ディスクタイトル ***1**
② **"001", "002"…..** : トラックタイトル ***2**
③ **"ALL(オール) ERASE(イレース)"** : ディスクとトラックタイトルの全消去
④ **"[1]", "[2]", "[3]"** : タイトルメモ ***3**

***1** 停止中に手順 1 - ❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
***2** |◀◀, ▶▶| キーを押すたびに "**001**"、"**002**" ･･･とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると③、④ と続きます。再生中に手順 1 - ❶を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。
***3** |◀◀, ▶▶| キーを押すたびに選ばれたタイトルメモの数字が点滅し、次に ①、② と続きます。

ディスクタイトルのとき :

"**dISC(ディスク)**"を選びます。

トラックタイトルのとき :

目的のトラックNo.を選びます。
(数字キーでも選べます。)

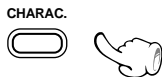
次のページにつづく

2 タイトルを入力する

文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

文字入力キーモード（数字キーで文字を選ぶとき）

"Aa"、"12"、"アァ" のいずれかが表示されていないときは文字入力キーのいずれかを押してください。

❶ CHARAC.キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ

❷ 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

（例：2カABC を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。）

❸ SETキーを押して、文字を確定する

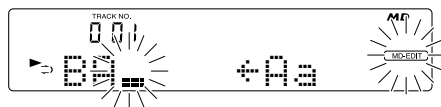
（❶〜❸を繰り返して、文字を入力します。）

"文字入力キーモード" のときの文字グループは以下の通りです。

"Aa" グループ：
A〜z、記号とタイトルメモ（[1]、[2]、[3]）

"12"グループ：
0〜9と記号

"アァ"グループ：
アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号

- ◀◀、▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- 間違えたときは、**CLEAR/DELETE** キーを押して消去します。

カーソルが移動、次の文字入力待ち

タイトル編集文字一覧表

キー ＼ グループ	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	スペース [1] [2] [3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy	9	ラリルレロ
0ワヲンQZ	QZqz	0	゛ ゜ ワヲン
+10 &( )–	' , : ? ! ; . ”_ ` $ ␣ & ( ) – / + ＊ = < > # % @		
SPACE	スペース		

- "゛", "゜"はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 文字入力キーを１回押したとき、最初に表示されるアルファベットは、そのときの状態によって大文字と小文字が入れ替わります。

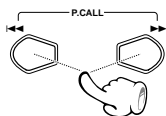
次のページにつづく

スキップキーモード(⏮、⏭キーで文字を選ぶとき)

"Aa"、"12"、"アァ" のいずれかが表示されているときは ⏮、⏭ キーを押してください。

❶ CHARAC.(キャラクター) キーを繰り返し押して、目的の文字グループの表示にする

❷ ⏮、⏭ キーを押して、目的の文字を選び、カーソルに合わせる

❸ SET(セット)キーを押して、文字を確定する

(❶〜❸を繰り返して、文字を入力します。)

"スキップキーモード"のときの文字グループは以下の通りです。

アルファベットの大文字グループ:
A〜Zとスペース(1文字分の空白)

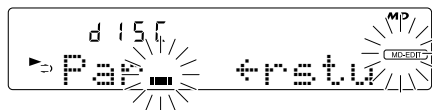
アルファベットの小文字グループ:
a〜zとスペース

数字、記号グループ:
0〜9、スペースと記号

カタカナグループ:
アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・

タイトルグループ:
タイトルメモ([123])、ディスクタイトルとトラックタイトル

- ⏮、⏭ キーを押すと表示がスクロールして、同じグループ内のすべての文字を選ぶことができます。
- ◀◀、▶▶ キーで、入力場所(カーソル)を左右に移動できます。
- 間違えたときは、CLEAR(クリアー)/DELETE(デリート) キーを押して消去します。

ミニディスクタイトルの例

次の文字入力待ち

⏮、⏭キーで文字を選ぶとき(スキップキーモード)

アルファベットの大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
アルファベットの小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! ”# ＄%&'()＊＋，－．/：；<＝>｀?@ スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン スペース ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ スペース ー
タイトルグループ	[123] [dISC] [001] [002]・・・

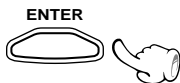
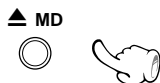
- "スキップキーモード"で文字を入力する場合、カタカナやアルファベット文字を入力するのと同じ要領で、タイトルメモや別のディスク/トラックタイトルを入力(コピー)することができます。 →68 →69

次のページにつづく

応用編

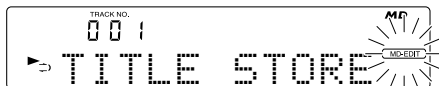
3 タイトル入力を実行する

❶ ENTERキーを押して、タイトル入力を確定する

- タイトルを確定する前に、電源をオフ(スタンバイ)にしたり、TITLE INPUT キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

❷ TITLE INPUT キーを押して、編集を終了する

❸ ≜ MD キーを押してミニディスクを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)" を参照して操作してください。 →70

- ENTER キーを押すと、次に編集するタイトル(ディスク名または曲名)を選択することができます。続けてタイトル編集をするときは、手順❶-❷から繰り返してください。

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを変更、消去する

❶ "ミニディスクや曲にタイトルをつける" の手順 1 を行い、変更または消去したいディスクタイトルまたは、トラックタイトルを選ぶ

❷ ◀◀ または ▶▶ キーを押して、カーソルを変更または消去したい文字にあわせる

- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

❸ CLEAR/DELETE キーを押して文字を消去する (消去のときは手順 ❺ へ)

❹ 変更したいときは、手順 ❸ のあとに "ミニディスクや曲にタイトルをつける" の手順2を行う

❺ "ミニディスクや曲にタイトルをつける" の手順 3 を行う

タイトルをすべて消去する

❶ 入力切換をMDにして TITLE INPUT キーを押す

❷ |◀◀、▶▶|キーを繰り返し押して、"ALL ERASE" を選ぶ

❸ SETキーを押して "ALL ERASE" を確定する

❹ ENTER キーを押して消去する

- ディスクタイトルまたは、トラックタイトルともすべて消去されます。

❺ TITLE INPUT キーを押して編集を終了する

❻ ≜ MD キーを押してミニディスクを取り出す

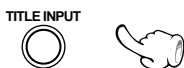
タイトルメモへの登録（TITLE MEMO）

文字入力の手間を省くため、何回も使うような入力した文字をタイトルとして、タイトルメモ("[1]"、"[2]" または "[3]")に3つまで保存することができます。

MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする。

1 登録先のタイトルメモを選ぶ

❶ **TITLE INPUTキーを押し、"MD-EDIT" を点滅させる 。**

❷ **|◀◀ または ▶▶| キーを繰り返し押して、登録先の ④(タイトルメモ："[1]"、"[2]" または "[3]")を選ぶ。**

❸ **SET キーを押す。**

|◀◀、▶▶| キーを押すと切り換わります。

① **"dISC"** : ディスクタイトル ***1**
② **"001", "002" ....** : トラックタイトル ***2**
③ **"ALL ERASE"**
④ **"[1]", "[2]", "[3]"** : タイトルメモ

***1** 停止中に手順 1-❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
***2** 再生中に手順 1-❶ を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。

タイトルメモの番号

- 途中でやめるには、手順 3 - ❶ の前に TITLE INPUT キーを押します。

2 文字を入力する

"ミニディスクや曲にタイトルをつける" の手順 2 を行い文字を入力する → 64

- タイトルメモ("[1]"、"[2]"または"[3]")にディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を、タイトルメモにコピーすることもできます。→ 69

3 タイトルの登録を実行する

❶ **ENTER キーを押し、タイトルメモに保存する。**

❷ **編集を終了するときは、TITLE INPUTキーを押す。**

- 別のタイトルメモに文字入力を続けるときは、手順 1 -❷ ～ 2 を繰り返してください。

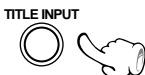
タイトルのコピー (TITLE COPY)

タイトルメモ("[1]"、"[2]" または "[3]")に登録したタイトルや、ディスクタイトル(ミニディスク名)またはトラックタイトル(曲名)を、別のタイトルメモ、ディスクまたはトラックにコピーすることができます。

MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする。

1 これからタイトルをつけたいディスク、トラックまたはタイトルメモを選ぶ

❶ **TITLE INPUTキーを押し、"MD-EDIT" を点滅させる 。**

❷ **⏮ または ⏭ キーを繰り返し押して、これからタイトルをつけたい ①("dISC":ディスク)、②("001", "002"....: 曲番)または ④("[1]", "[2]", "[3]":タイトルメモ)を選ぶ。**

❸ **SET キーを押す。**

⏮、⏭ キーを押すと切り換わります。

① **"dISC"** : ディスクタイトル ***1**
② **"001", "002" ....** : トラックタイトル ***2**
③ **"ALL ERASE"**
④ **"[1]", "[2]", "[3]"** : タイトルメモ

***1** 停止中に手順 1-❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
***2** 再生中に手順 1-❶ を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。

- 途中でやめるには、手順 3 - ❶ の前に TITLE INPUT キーを押します。

2 コピーしたいタイトルを選ぶ

❶ **⏮ または ⏭ キーを押す。**

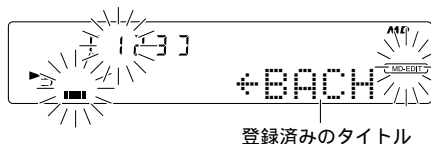
❷ **CHARAC. キーを繰り返し押し、"[1 2 3]" を表示させる。**

❸ **⏮ または ⏭ キーを繰り返し押し、コピーしたいタイトルを選ぶ。**

"dISC" : ディスクタイトル
"001", "002" .... : トラックタイトル
"[1 2 3]" : タイトルメモの "**[1]**"、"**[2]**" または "**[3]**" のいづれかに登録してあるタイトル

❹ **SET キーを押す。**

タイトルメモの番号

登録済みのタイトル

- 別のタイトルメモに文字入力を続けるときは、手順 1 ～2 を繰り返してください。

3 タイトルのコピーを実行する

❶ **ENTER キーを押し、タイトルをコピーする。**

❷ **編集を終了するときは、TITLE INPUTキーを押す。**

❸ **⏏ MD キーを押してミニディスクを取り出す。**

編集した内容を取り消す(CANCEL)

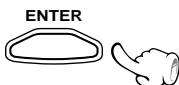
停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。
編集を取り消すときは、必ずディスクを取り出す前に行ってください。
万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

> **MDの編集を行うときは、停止中に PGM キーを押してプログラムモードを解除してください。**

入力切換を"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "▶ CANCEL ?"を選ぶ

❶ TRACK EDIT キーを繰り返し押し、"▶ CANCEL ?"を選ぶ

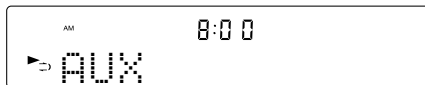
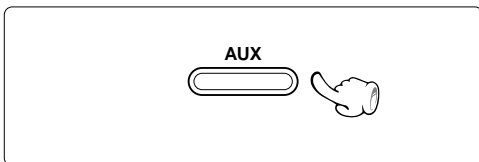
❷ 確定する

押すたびに切り換わります。

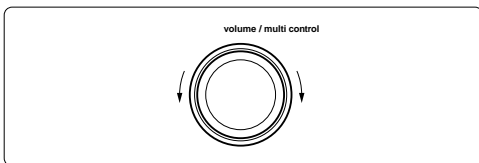
① "**▶ Q.MOVE ?**"
② "**▶ Q.ERASE ?**"
③ "**▶ CANCEL ?**"
④ "**MD-EDIT**"消灯(編集モード解除)

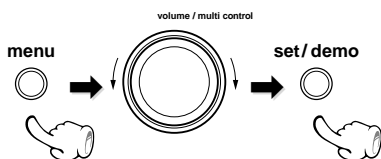
- 編集後にミニディスクを取り出した場合などは、"**X CANCEL**" と表示され操作できません。
- 途中でやめるには、手順 **2** の前に **TRACK EDIT** キーを押します。

2 編集の取り消しを実行する

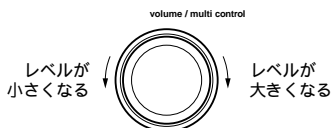
外部入力ソースを聴く

1 電源がオンのとき、AUX キーを押す

2 接続した機器を再生する

3 音量を調節する

インプットレベルを調整する

AUX入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からのインプットレベルを調整します。CD、MD等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。（本体でのみ操作可能）

❶ AUX キーを押す。

❷ "AUX INPUT ?" を選ぶ

("?" マークが点滅中に set/demo キーを押す)

❸ インプットレベルを調整する

❹ 確定する

set / demo

回すと表示が切り換わります。

"TAPE RVS. ?"
"MD REC MODE"
"REC SPEED ?"
"REC OPTIONS"
"ケンメイセッテイ?"
（入力切換がチューナーのときのみ）
"AUX INPUT ?"
（入力切換が外部入力のときのみ）
"TIMER SET ?"
"A.P.S. SET ?"

- -5〜+2の範囲で調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

時刻合わせ

時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

1 時刻合わせモードにする

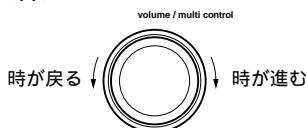
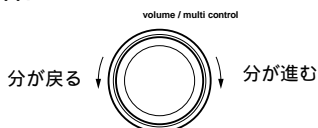
電源がオンのとき2秒以上押す

menu

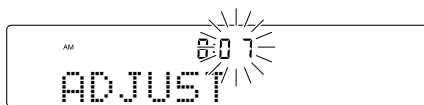
- 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

8時7分に合わせる例

- 時間は12時間表示（AM/PM）で表示されます。
- **set/demo** キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。

3 分を合わせる

❷ 確定する

set / demo

8時7分に合わせる例

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- **set/demo** キーを押して、設定が終了すると "**COMPLETE !**" と表示します。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、■ **STOP** キーを押すと８秒間時刻を表示します。

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP（スリープ））

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

O.T.T. タイマー →74

時刻をセットするだけのカンタンな操作で、1回限り1時間だけのタイマー再生ができます。

タイマー再生、タイマー録音（PROG.1（プログラム），PROG.2（プログラム）） →76

設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

AI タイマー再生（PROG.1（プログラム），PROG.2（プログラム）） →76

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、一定の音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP（スリープ））

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10 〜→12

時間を設定する

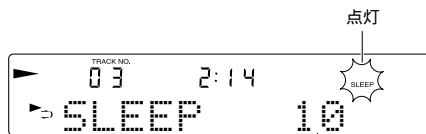
本システムは、スリープタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。（オートディマー機能）

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに10分ずつ増えていきます。最大90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

点灯

TRACK NO. 03 2:14 SLEEP

SLEEP 10

セットする時間

- スリープタイマーの動作中に、**SLEEP**（スリープ） キーを押すと、残り時間の確認ができます。

解除するには

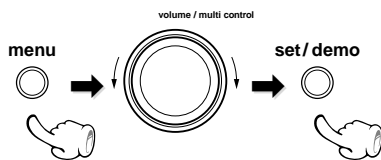
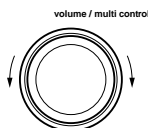
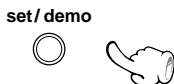
電源をオフ（スタンバイ）にするか、または SLEEP（スリープ） キーを解除になるまで繰り返し押す

応用編

O.T.T. タイマーを設定する

電源をオフにする前に、最後に選ばれていたソースが電源をオフにしたときの音量で再生されます。タイマー再生開始から1時間で、電源が自動的にオフ になります。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください →72
"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10〜→12

1 O.T.T. タイマーを選ぶ

❶ "TIMER SET ?"を選ぶ

("?" マークが点滅中に set/demo キーを押す)

回すと表示が切り換わります。

- "TAPE RVS. ?"
- "MD REC MODE"
- "REC SPEED ?"
- "REC OPTIONS"
- "ケンメイセッテイ?"
  (入力切換がチューナーのときのみ)
- "AUX INPUT ?"
  (入力切換が外部入力のときのみ)
- "TIMER SET ?"
- "A.P.S. SET ?"

❷ "O.T.T. SET ?"を選ぶ

回すと表示が切り換わります。

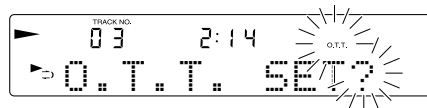
- ① "O. T. T. SET ?"
- ② "PROG. 1 SET ?"
- ③ "PROG. 2 SET ?"

❸ 確定する

(タイマーの内容の表示中に押す)

- 前の設定内容を表示します。(変更しない場合は、ディスク、テープの準備、音量の調節をしてから **set/demo** キーを押してください)
- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

応用編

次のページにつづく

2 再生または、受信を始めたい時刻(オン時刻)を合わせる

- オン時刻は、5分単位で設定できます。
- 間違えたときは、**menu** キーを押して、手順 **1** からやり直してください

予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

3 設定を予約する

押すたびに表示部が切り換わります。

① **"O.T.T."**
② **"PROG. 1"**
③ **"PROG.　2"**
④ **"PROG. 1 2"**
⑤ **タイマー解除**

- リモコンの **TIMER** キーを繰り返し押して、"**O.T.T.**" 表示を点灯させます。
- タイマーを解除する場合は、電源がオンのときに **TIMER** キーを押してタイマーの表示を全て消灯させます。(予約内容は記憶しています。)
- PROG.1またはPROG.2タイマーが先に予約されているとき、O.T.T.タイマーを設定すると、PROG.1またはPROG.2タイマーの予約は取り消されます。

4 電源をオフ(スタンバイ)にする

- スタンバイ状態になると **standby/timer** インジケーターが緑色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ(タイマースタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、 **standby/timer** インジケーターが緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

毎日働くタイマーを設定する

PROG.1, PROG.2には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください →72
"接続のしかた"を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10〜→12

1 聴く（録音する）ための準備をする

CDを聴く
ディスクを入れる
（プログラム再生はできません。）

MDを聴く
ミニディスクを入れる。
（プログラム再生はできません。）

テープを聴く
テープをセットする。

ラジオを聴く
放送局をプリセットしておく。→29

外部入力ソースを聴く
AUX端子に接続した機器のタイマー設定をする。

録音する
録音の準備をする。
MD →32
TAPE →36

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

2 タイマーの番号を選ぶ

❶ "TIMER SET ?"を選ぶ

（"?" マークが点滅中に set/demo キーを押す）

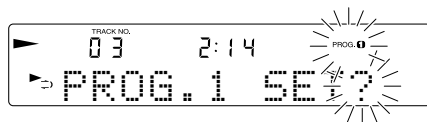
回すと表示が切り換わります。
- "TAPE RVS. ?"
- "MD REC MODE"
- "REC SPEED ?"
- "REC OPTIONS"
- "ケンメイセッテイ?"
  （入力切換がチューナーのときのみ）
- "AUX INPUT ?"
  （入力切換が外部入力のときのみ）
- "TIMER SET ?"
- "A.P.S. SET ?"

❷ "PROG. 1 SET ?"または
"PROG. 2 SET ?"を選ぶ

回すと表示が切り換わります。
① "O.T.T. SET ?"
② "PROG. 1 SET ?"
③ "PROG. 2 SET ?"

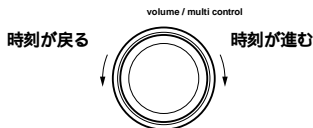
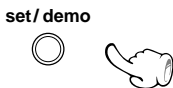
❸ 確定する

set / demo

（タイマーの内容の表示中に押す）

- 前の設定内容を表示します。（変更しない場合は、ディスク、テープの準備、音量の調節をしてから set/demo キーを押してください）
- すでに設定が済んでいるタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

次のページにつづく

3 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

❶ 時刻を合わせる

❷ 確定する

- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い時間を入力した後、同じ手順で分を入力します。
- 間違えたときは、menu(メニュー) キーを押して、手順❷からやり直してください

4 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❶ モードを選ぶ

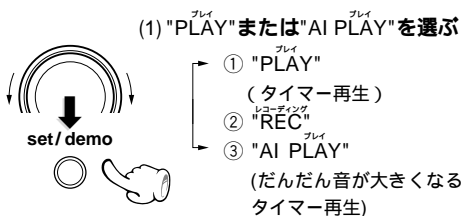
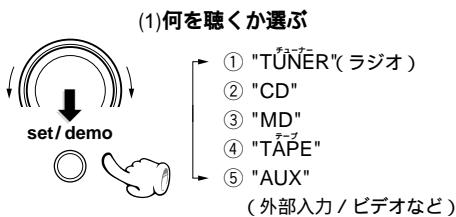
(1) "PLAY(プレイ)"または"AI PLAY(プレイ)"を選ぶ

① **"PLAY(プレイ)"**
(タイマー再生)
② **"REC(レコーディング)"**
③ **"AI PLAY(プレイ)"**
(だんだん音が大きくなるタイマー再生)

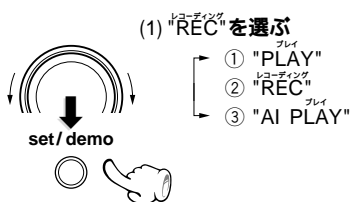
(2) 確定する

❷ 入力ソースを選ぶ

(1)何を聴くか選ぶ

① **"TUNER(チューナー)"**(ラジオ)
② **"CD"**
③ **"MD"**
④ **"TAPE(テープ)"**
⑤ **"AUX"**
(外部入力／ビデオなど)

(2) 確定する

次のページにつづく

タイマー録音をするとき

❶ モードを選ぶ

(1) "REC(レコーディング)"を選ぶ

① **"PLAY(プレイ)"**
② **"REC(レコーディング)"**
③ **"AI PLAY(プレイ)"**

(2) 確定する

❷ 入力ソースを選ぶ

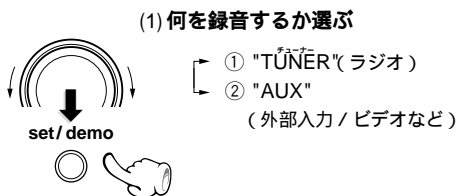
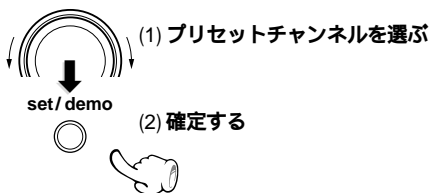
(1) 何を録音するか選ぶ

① **"TUNER(チューナー)"**(ラジオ)
② **"AUX"**
(外部入力／ビデオなど)

(2) 確定する

次のページにつづく

❸ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)

(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 確定する

- **set/demo** キーを押して、設定が終了すると "**COMPLETE !**" と表示します。
- "**PLAY**" を選ぶと電源をオフにしたときの音量で再生されます。

❸ 放送局を選ぶ(TUNER時のみ)

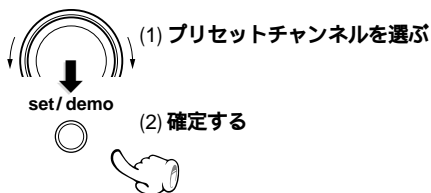
(1) プリセットチャンネルを選ぶ

(2) 確定する

❹ 録音する機器を選ぶ

(1) 選ぶ

① **"TAPE REC"**
② **"MD REC"**

(2) 確定する

- **set/demo** キーを押して、設定が終了すると "**COMPLETE !**" と表示します。
- タイマー録音中は音が出ません。音を聴きたいときは、**volume/multi control** つまみを回して(またはリモコンの **VOLUME** キーを押して)音量を調節してください。

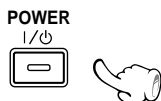
予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

5 設定を予約する

押すたびに表示部が切り換わります。

① **"O.T.T."**
② **"PROG. ❶"**
③ **"PROG. ❷"**
④ **"PROG. ❶ ❷"**
⑤ **タイマー解除**

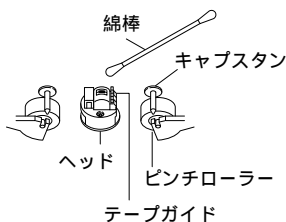
- リモコンの **TIMER** キーを繰り返し押して、"**PROG. ❶**"、"**PROG. ❷**"、または "**PROG. ❶ ❷**" を点灯させます。
- タイマーを解除する場合は、電源がオンのときに **TIMER** キーを押してタイマーの表示を全て消灯させます。(予約内容は記憶しています。)

6 電源をオフ(スタンバイ)にする

- スタンバイ状態になると **standby/timer** 表示灯が緑色に点灯します。
- タイマー設定後、電源がオフ(タイマースタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、 **standby/timer** 表示灯が緑色に点滅します。この場合は、もう一度時刻合わせをやり直してください。

応用編

知っておきましょう

メンテナンス

ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ CD、MDを取り出します。

❷ MD ►/II キーを押す。

MD NO DISC

❸ CD ►/II キーを押す。

CD NO DISC

❹ しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

❺ 数秒間待って、電源をオフにします。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容：

時計表示

電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容：

アンプ部

電源の状態(オンまたはスタンバイ)、ラストインプットセレクタ、ボリューム値、トーンコントロール値AUXインプット値、オートパワーセーブの設定

チューナー部

受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO(オート)/MONO(モノラル) の設定、タイマーの設定内容

カセットデッキ部

テープ走行方向、テープイコライザー、リバースモード

MDレコーダー部

録音モード、録音スピード

本機で使用できるディスクについて

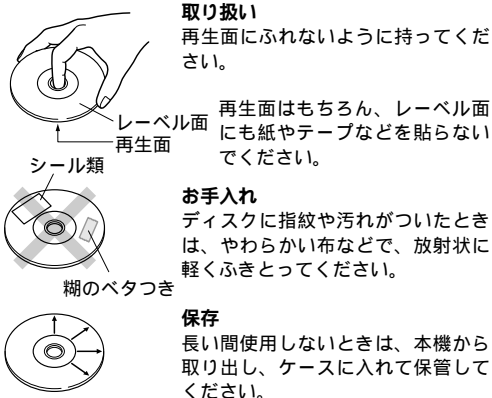
CD (12cm、8cm)、VCD および CD-G/CD-EG (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

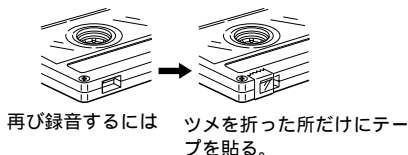
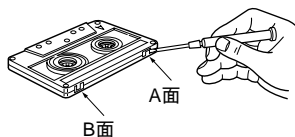
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

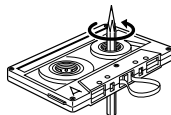
レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

テープの取り扱いかた

誤消去防止装置
大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

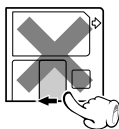
再び録音するには　ツメを折った所だけにテープを貼る。

テープの保管について
直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合
このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。

1. 長時間テープについて
90分を越えるテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

2. エンドレステープについて
エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

MDの取り扱いかた

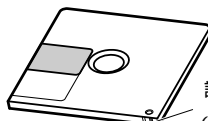
MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない
シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

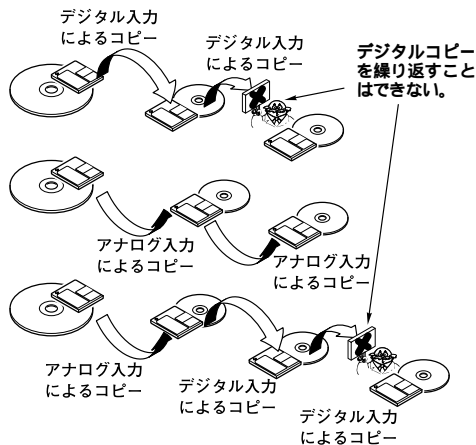
ほこり対策について
本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

ディスクアクセサリーについて
レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

お手入れのしかた
定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ
録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて
ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

MD - Clip データについて

MD-Clip データ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clip のデータ内容が失われることがあります。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03)5353-0336（代表）
FAX. (03)5353-0337

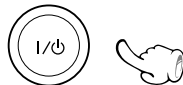
ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、I/⏻ キーを押しながら、差し込み直す。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10 ● 音量を上げる。 ● **MUTE**(ミュート)をオフ(解除)にする。 →19 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"standby/timer"(スタンバイ/タイマー) **の表示が赤く点滅し, 音が出ない。**	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。
"standby/timer"(スタンバイ/タイマー) **の表示が緑色に点滅する。**	● 時刻合わせをやり直す。 →72
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →19 ● 音量を上げる。 →18
スピーカーの片側から音が出ない。	● "**接続のしかた**" をみて正しく接続し直す。 →10
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →72
タイマーが作動しない。	● "**時刻合わせ**" をみて現在時刻を合わせる。 →72 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 →77 ● リモコンの **TIMER**(タイマー) キーで実行指定する。 →75 →78

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →11 ● 放送バンドを合わせる。 →28 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →28
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALL(プリセットコール) **キーを押しても受信できない。**	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →29 ● 長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする。 →29

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" **0:00**"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" **0:00**" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。
モノラル録音されたミニディスクのとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

*1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）
*2 STEREO（ステレオ録音モード）、LP2（ステレオ2倍長時間録音モード）、LP4（ステレオ4倍長時間録音モード）、MONO（モノラル録音モード）
*3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）

MDレコーダー部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → 81 ● 入力切換を録音したいソースにする。 → 32
録音レベルが低い（AUX 使用時）	● AUX入力レベルを調節する。 → 71
音がひずむ。	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時）AUX入力レベルを調節する。 → 71
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

CDプレーヤー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →80 ● "**結露にご注意**" を参照し、露を蒸 発させる。 →79
音声が出ない。	● **CD ▶/II** キーを押す。 ● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →80
音とびがする。	● "**ディスク取扱上のご注意**" を参照し、ディスクを清掃する。 →80 ● 震動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● "**ヘッドのお手入れ**"をみてヘッドを清掃する。 →79 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● 録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	● ホルダーを完全に閉める。 →26 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 →26
"≜ push（プッシュ） open（オープン）" 表示部を押しても、ホルダーが開かない。	● 停止状態で押す。 ● マイコンをリセットする。 →82
音がかすれたり高音が出なくなる。	● "**ヘッドのお手入れ**"をみてヘッドを清掃する。 →79 ● テープがのびている。
音がひずむ。	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX使用時） AUXインプットレベルを調整する。 →71
雑音が大きい。	● "**ヘッドのお手入れ**"をみて消磁する。 →79 ● 電気器具、テレビなどから離す。 ● テープイコライザーをオンにする。 →27
音がふるえる。	● "**ヘッドのお手入れ**"をみてヘッドを清掃する。 →79 ● テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 →26 →27
録音キーを押しても録音できない。	● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 →80 ● ホルダーを完全に閉める。 →26 ● 入力切換を録音したいソースにする。 →37 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 →26

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →17 ● 操作範囲内で操作する。 →17

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	● 74分以内に101曲以上のCDを倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。
DISC ERROR	● UTOC* の内容が異常である。"ALL ERASE"を行う。 →58 それができないときは、MDを取り換える。
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
FULL	● Q.ERASE、Q.MOVEで33曲目を選択しようとしている。 →54 →58
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。
PGM FULL	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。→39
PGM Mode	● プログラムモードのときにランダム再生、倍速録音（CD→MD）、MDの編集をしようとしている。プログラムモードを解除する。 →40
PLAY ONLY	● 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
PROTECTED	● MDが"録音禁止"されている。"録音可能"にする。 →81 カセットのツメが折れている。ツメを折った所だけにテープを貼る。 →80
RANDOM Mode	● CDランダムモードのときにMD O.T.E.録音またはTAPE O.T.E.録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 →42
READING	● TOC* 情報を読み込んでいる。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。
TEXT FULL	● 1Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字（"LP："も含む）までです。
" **?** " の点滅	● 設定やMDの編集を実行してもよろしいですか？ という確認のためのメッセージ。

* すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

修理のため、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットに、セットをお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。（スピーカーを除きます。）

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別途添付）

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- **お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害**
- **録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害**

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　　-

定格

本体部

［アンプ部］

実用最大出力..........................25W+25W（EIAJ 6 Ω）
周波数特性
　AUX .... 40 Hz〜50 kHz（0 dB〜-3dB）

［チューナー部］

FMチューナー部
　受信周波数範囲 ....76 MHz〜90 MHz
　アンテナインピーダンス .... 75 Ω
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz〜1,629 kHz

［MDレコーダー部］

読み取り方式.........................非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式.....................磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式.............................. ATRAC, ATRAC 3
D/Aコンバーター .... 1 Bit
ワウ・フラッター (EIAJ)..................... 測定限界以下

［CDプレーヤー部］

読み取り方式.........................非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 bit
サンプリング周波数......................... 8 fs (352.8 Hz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz〜20 kHz
ワウ・フラッター (EIAJ)
.... 測定限界以下

［カセットデッキ部］

トラック方式..........4トラック2チャンネルステレオ
録音方式...............交流バイアス（周波数：105 kHz）
ヘッド
　録音／再生ヘッド 1
　消去用 1
モーター ....DCモーター　×1
ワウ・フラッター .... 0.2% (W.R.M.S.)
早巻き時間 約110秒 (C-60)

［電源部・その他］

電源電圧・電源周波数 ....AC 100 V, 50 Hz/ 60 Hz
定格消費電力（電気用品取締法に基づく表示） .... 70 W
最大外形寸法 ....幅　180 mm
高さ　255 mm
奥行　317 mm
質量（重量） ....5.6 kg(正味)

スピーカー部

エンクロージャー ....バスレフ型
スピーカー構成
　ウーファー ....120 mm コーン型
　ツイーター ....25 mm ドーム型
インピーダンス ....6 Ω
最大入力 .... 30 W
最大外形寸法 .... 幅　150 mm
高さ　255 mm
奥行　215 mm
質量（重量） .... 2.5 kg（1本）

知識編

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水の凍るような）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。